

も官憲だが、牢へ行くことを名譽と心得て居た所が、何の役にも立たない。其の牢に居る期間だけ外で何にかすれば、餘程の仕事も出来やうではないか。

社會主義の理想も、社會政策の極致も落つれば同じ谷川の水で、等しく萬人の幸福といふ所にある。社會政策が完全に行はるれば、無政府主義の必要も、社會主義の必要もなくなる。革命など全く無用の長物で、モシ革命といふならば及によらざる革命、若しくは相談づくで宗旨換へをするといふのが當つて居やう。勿論予は危険でないとはいはぬ。唯予の性行と事業とに依つて、之が證明をさせて、自らは辯明はせぬ。況んや佛の面も三度といふことがあつて、先の出やうでは猫も虎と爲らぬとは限らぬ。併し社會主義を鎮壓することの不可能であることは、彼の鐵血宰相といは

れたピスマークでさへ手を焼いて居る。況んや日本の群小政治家が之れを試みたならば、丁度子供が蜂の巢をつゝくやうなものである。然るに原君は流石に賢明である。社會主義に對する態度は、歴代の首相中の誰れよりも、寛嚴宜しきを得てると思ふ。此の前の内閣即ち寺内内閣は甚だよろしくなかつた。早稻田の駄法蠻伯の時代も、寺内時代と餘り差はなかつた。況んや桂内閣に到つては、亂暴を極めて手を焼いたことは諸君の知らるゝ通りである。

## 一〇、社會政策と感情

ところで社會政策は政府及び資本家がやるべきものと成つて居るが、併し日本では官僚的となるから何にも成らぬ。獨逸で成



功したのは、社會黨の裏を掻くつもりだから徹底したのである。日本では色々の社會事業を試みないではないが、何れも官僚的に成つて毫も成績は上らない。例へば政府は各地方に低利資金の融通をするとか、市とか縣とか町村とか、何れも官僚と迎合し其命のまゝに働くものにし、か貸さぬ。労働組合に資金を融通したか。個人でやつてる社會事業に金を貸したか。

社會政策を行ふには勿論金がある。其の資金は資本家が出すもよろしい。政府が貸與するもよろしい。けれども之れが運用は官僚的ではイケない。眞に平民的な従業員の下に、組合法に依つてやらなければ駄目である。そして政府が之れを助けるやうにしなくては駄目である。然るに日本の政府では、資本家の御機嫌を取るの餘り、官僚に迎合せぬ者は助けぬといふ傾きがある。

こんな方針で社會政策をやつた處が、所謂佛造つて魂入れぬもので何にも成りはしない。



## 第二維新終

## 附録

### 予の社會改良意見

本篇は予の社會政策意見であつて、又予が社會事業の歴史である。之れに依れば予が事業の變遷及び思想の推移を窺ふことが出来ると思ふ。そこで鶏筋の感に堪へずして茲に収録した。また初學の士を益するとは尠少であるまい。

### 實費診療所開設趣意書

近年、貧民問題は漸く社會一般の注意を惹き、恩賜金の御下附を機として濟生會の設立をも見るに至りたるが、猶茲に看過す可か



らざるは中等貧民の問題である

中等貧民とは中等階級の下層に屬する貧民にして、所謂貧民にもあらず又勞働者にもあざれど、其收入甚だ少く或は其地位不定不安にして、其生活の苦しき事寧ろ貧民勞働者に過ぎたる者で、別言すれば智識ある貧民、目の明いた貧民である。例せば小官吏、事務員、店員、巡査、教員、學生、勞働者其他之に類似する無數の浪人等である。

西洋にても是等の下層中等階級は、勞働保險に加入して其恩澤を受くる事も出來ず、已むなく種々の組合(殊に消費組合の如き)を作りて自衛の道を講じて居る。又都市に於ては是等に對する共同長屋を建設して居る所もある。然し同業者が諸方に散在して團結の便宜を缺く場合(例せば教員の如き)に在つては、是等の自衛

策救濟法も未だ充分の效果を見る事が出來ぬ。中等貧民問題は西洋に於ても矢張難問題の一として存して居る。我國に於ても或は貧民長屋と云ひ、或は郵便貯金法と云ひ、或は公共質屋と云ひ、近來漸く救濟政策の行はれんとするは我等の大に喜ぶ所なれども、而も此の中等貧民救濟策は未だ少しも行はれ居らず、下層中等階級の不安と困難とは日に月に増大し、智識ある貧民、目の明いた貧民は愈々益々其數を加へつゝある。

今や政府は百方苦慮して危險思想の防遏に勉めて居るが、其危險思想なる者は即ち大抵此等の貧民の間より發生するものである。眞の貧民の救濟と同時に此の中等貧民を救濟するの道を立てざれば、國家の維持は到底六かしいと思ふ。抑も國家は何に依りて存立するか、兵役を負擔するものは大抵



中流以下の人民である。租税の大部分を負担する者も亦大多數の平民である。富豪貴族の如きは此の點に於て充分國民の義務を盡して居らぬ。而も國家は常に富豪貴族の國家であるかの如き觀を呈し、一般平民を侮蔑し疎外するの傾向を示して居る。斯の如き社會の不秩序に對して先づ其眼を開く者は即ち彼の智識ある貧民である。所謂危險思想は従つて此間より發生するのである故に國家にして眞に其鞏固を謀らんと欲し、眞に其職責を盡さんと欲せば、必ず此の中等貧民救濟の方策を忘れてはならぬ。

然しながら是は大事業である。自分等の如き者が如何に區々の微衷を存するとも到底其の力の及ぶ所で無い。只自分は幸に醫を業とするが故に其業務の餘力を以て若し聊か其缺陷の一端を充たすを得んかと思ふのである。

自分は彼の下層中等階級の人々が、日常の生活に苦み無職に苦み失業に苦み殊に疾病に苦む者の無數なるに對し、常に見るに忍びざるの感を爲す者である。就てはせめて其疾病だけに對しても、我業務の餘力を以て幾分の便宜を與へたいとは豫て志して居た所である。そこで今回愈々實費診療所を開始し、一面には自己の社會研究の材料に供し、一面には前記政策の一端を補はんと欲するのである。

然らば其方法如何と云ふに、自分には固より多くの資力なし、さりとて富豪資本家の世話にもなりたくなし、若し富豪資本家の世話になるとせば其人々に因縁ある即ち富豪系の貧窮者のみ救ふ事となるは、前例の明かに示す所である。富豪資本家に見放されたる眞の貧窮者を救ふには、其富豪資本家の助を借る譯に行かぬ。



勿論富豪なりとて善く其財を散じて敢て恩を賣らざる眞の陰徳の人は我等の歓迎する所であるが、其他は恐らく我等の理想の友では無い。

そこで自分は先づ小規模を以て手近の處より之を始め、爲し得るだけを爲し、盡し得るだけを盡しつゝ、徐々に其擴張を謀るの方針で差當り自分の小病院を開放して之に充てるか、又は別に小假診療所を設くる事とす可し。其方法の細目は別に規定してあるが、先づ大體三四十圓以下の小収入の人を目安とし、夜間に限りて診察を行ひ、診察料は勿論徴收せず、薬價及び手術料は實費として普通半額若くは其の以下を徴收する事とす、猶其邊の事は鐵道院附屬の常盤病院其他半施療院などの例に依る積りである。醫員は専ら平民思想ある篤志家の助力に俟つので、直ちに各専門科の

診察を開始し得るか否かは未定であるが、これも爲し得るだけを爲しつゝ、徐々の進歩を期する積りである。

〔實費診療所〕開設の趣意大略斯の如し、敢て大方諸君子の贊助を仰ぐ。(明治四十四年八月)

## 生活社の事業

——生活社及平民病院の過去現在未來——

### 一 實費診療所の創設

平民病院の前身は加藤病院であり、又實費診療所である。予明治廿三年以來、加藤病院を開設して、専ら外科、婦人科、皮膚科、泌尿科等の診療に従事してゐた。然るに其の後徐ろに社會の變遷を観察するに、貧富の懸隔は次第に甚だしく、中流以下の人民に在つて



は、生活の困難殆ど其の極に達し、多數なる疾病老弱の者も醫藥に就くの道なく、醫士も病院も、徒に上流人士のためのみ存在するの形勢を呈して來た。予は醫士として實に此の形勢を坐視するに忍びず、又多年抱懷せる社會政策上の見地よりして、何等か之を救済するの方策を講せねばならぬと考へてゐた。

明治四十一年、予は再度歐洲に漫遊し、一面には醫學上の研鑽を積み、一面には社會政策上の講究に勉めたが、歐洲に於ける貧富の争と、及之を緩和し、救済すべき諸種の施設とは、深く予を啓發するに足るものがあつた。そこで歸朝の後、益々社會政策上の意見を堅め、種々に實行の方案を廻してゐる中、彼の不祥なる大逆事件の勃發するに遭つた。予はいよいよ、貧富の懸隔を緩和し、救済するの急要を痛感した。

大逆事件の後、恩賜財團濟生會の組織せられたのは、眞に暗雲の中に一道の光明を認めるの感があつたに相違ないが、然し其の經營の方法に至つては、予の未だ満足し得ざる所が少くなかつた。故に予は當時、桂首相に一書を呈し、慈善事業は到底眞に貧富の懸隔を緩和するの道にあらざるを説き、殊に現時に於いて最も生活の困難を感じ、危険思想激成の虞を有する階級、即ち中流の下層に屬する多數の有力なる人民、別語を以つて之を言へば中流貧民とも稱すべき階級に對し、其人格體面を毀損するが如き慈善事業に依らずして別に獨立自助の救済策を講ずる事の必要を勸告した。其後予は遂に意を決して専ら中流貧民救済の目的を以て實費診療所の創設を計畫し、明治四十四年八月、社團法人として其筋の認可を受け、加藤病院内に於いて其の業務を開始した。



## 二 實費診療所との分譲

實費診療所の役員は理事長鈴木梅四郎、理事小栗貞雄、加藤時次郎、監事手塚猛昌、榎川忠兵衛、醫務長加藤時次郎であつたが、實際に於いては殆ど予一人を以て經營の任に當り、資本金も僅々二三千圓の事であるから、予は加藤病院の建物、設備、信用等殆ど一切を舉げて診療所に提供し、予の全力を注いで其の發展に努力した。創業は固より何の事業に於いても困難である。診療所も亦當初の二三年を困難の中に過した。然し社會の要求に適合したる公益事業の事として、診療所は漸く發展の機運に向ひ、大正四年に於いては、一年間の受診者延人員七十萬人餘を數へ、維持金優に二萬圓餘を剩し得るに至つた。

然るに診療所が斯くの如く盛大に赴くに從ひ、理事長鈴木氏は

漸く予を疎外するの傾向を示し、事毎に予の經營方針に反對の態度を取る事となつた。元來、診療所は前記の通り中流貧民救濟の目的を以て立つてゐるのに、其の定款に於いては、日收一圓以下の患者に限り之を診療すると云ふ事になつてゐる。然し現今社會の實情を見れば、日收二圓三圓の人と雖、猶同じく中流貧民の部に屬すべきものであつて、其の生活困難を感ずる事は却て一圓以下の者より甚だしき場合がある。そこで予は日收一圓以下の者のみを取扱ふべき診療所を以て該所創立の目的に副はざるものとして考へ、又定款に違背して同所に於て日收一圓以上の者を取扱ふ事の不都合なるを思ひ、從來の加藤病院を平民病院と改稱し、從來の専門なる外科、皮膚病科、婦人科等の外、新に各科を設置して一般病院と爲し、日收一圓以上の患者を之に引受け、實費診療所と相提携



して予が本來の目的を貫徹せんことを計畫した、

予は又、社會政策上の施設として一大産業組合を起すの考案を有し、先づ實費診療所及び加藤病院(若くは平民病院)の關係者を糾合して、購買組合、信用組合、生産組合等を設立するの計畫を立て、其の準備として既に生活社なる者を起し、其の事業の端緒として既に生活組合の設立に着手した。然るに右等の諸計畫が診療所創立當時より予の一貫したる主義方針であり、鈴木氏も亦全然夫に賛成して予に助勢し來りたるに拘はらず、近時に至り鈴木氏は種々の口實を設けて之に反對し、一々予の畫策を防遏するに勉めた。是に於いて、予は到底鈴木氏と兩立すべからざるを思ひ、若し此儘にして進行せば、予は只鈴木氏の爲に排斥せられ、予が五年間の苦心努力の結果たる診療所は、徒に鈴木氏の爲に奪ひ去らるるの

外なきを思ひ、遂に吾兒に別るゝが如き哀愁を忍んで、斷然診療所理事兼醫務長の職を辭し、別に獨力を以て生活社及び平民病院の事業を經營する事となつた、是が大正五年八月の事である。

### 三 生活社の現狀

爾後、予の事業は生活社の名を以て之を統一し、平民病院、平民藥局、組合部、法律部、編輯部等を置き、編輯部に於いては雜誌「生活の力」を發行し、法律部に於いては辯護士山崎今朝彌氏に托して「平民法律所」を設け、組合部に於いては農學士大川石松氏を主任として購買組合及び信用組合を設立し、平民病院及び平民藥局に於いては醫藥分業の方法に依り、専ら薄給者、勞働者、學生、店員等の診療に従事し、總てに於いて予の社會政策上の理想を實現するに勉めてゐる。



目下、生活社は東京市京橋區木挽町六丁目十番地に在り。平民病院の受診者は各科を通じて日々六百名に達してゐる。別に横濱市公園前なる横濱分院は昨年九月開院當初より、非常の好績を示し、日々の受診者既に三百名を越えてゐる。又大阪市北濱三丁目なる大阪分院は昨年十一月末の開業で、是も日々の受診者既に三百名に近く、數月中には必ず五六百名に達するの見込である。斯くの如く生活社の事業は着々として發展の途上に進んでゐるが、予の抱懐する大理想より見れば、まだく其の規模の狭小なること、眞に慚愧の至りである。そこで將來大發展の計畫と云ふ事になる。(横濱分院は後足曳町に移る)

#### 四 生活社の將來

予が今日に於いて差當り計畫せる生活社大發展の計畫は、凡そ

左の數項に歸着する。

- 一、平民病院東京本院の擴張。
- 二、東京市内に於ける數個の分院の新設。
- 三、大阪市内に於ける數個の分院の新設。
- 四、全國重要大都市に於ける分院の新設。
- 五、本社及び分院所在地に於ける、購買組合、信用組合、生産組合の完成。
- 六、平民法律所を完成して、平民の權利を伸張し、其の利益を擁護する完全の機關と爲す事。
- 七、編輯部を擴張して、有益有力なる新聞雜誌書籍の發行を爲す事。
- 八、本社關係の事業全部を完全なる一大組織と爲し、有力なる



平民階級の團體を作り貧富の懸隔、階級の軋轢より生ずる諸種の弊害及び危険を緩和救済する事。

##### 五 理想實現の方法

以上、予の事業の歴史と現状と及び將來の希望とを略述した。然し予は固より資力の足らざる一個の科學者であり、醫術者であり、社會政策の實行者である。殊に昨年以來、獨力を以て本社を經營し、新に二個の分院を開設し、予の經濟上の餘力は殆ど全く之に注ぎ盡してゐる。従つて將來の發展に就いては、他の有力者の援助に待つ外の外はない。

然しながら予は此の社會事業を以て資本家の手に委するに忍びぬ者である。實費診療所に於ける予の苦き經驗は、斷じて此の方策を排除するの決意を堅めさせた。然しながら又若し資力餘

りありて而も眞に社會民人を念とする善意の篤志家があつて、來つて予の事業を援助せらるゝならば、予は固より喜んで其の援助を受け、相共に此の公益の事業を完成せんことを切望する者である。

予の事業にして、若し予の理想のまゝに經營せられ、予の理想のまゝに發展するならば予は予の從來の事業一切を擧げて公共の手に提供するも、亦決して之を辭する者に非ざる事は、予の既に屢々公言し公約したる所である。予が此の事業に對する決して一身の名利の爲でなく、只多年懷抱せる大理想の實現の爲である事は、切に諒察を請はざるを得ぬ。敢て衷情を披瀝して識者の清鑑を仰ぐ。(大正六年三月)



## 社會政策實行團趣旨書

### 一 民主的思潮の大勢

十九世紀文明の進歩が其の餘弊として貧富の大懸隔を生じ、従つて上下反目、階級軋轢の不安状態を産出し、殊に二十世紀に入つてより以來、社會動搖の趨勢は頓に險惡の度を増大し、遂に漸く國家存立の基礎を危くせんとするの憂慮なきにしもあらざる事は、今更絮説するにも及びますまい。

況や今次の歐洲大戰は、一時各國內に於ける軋轢反目を緩和し、互に舉國一致の外觀を呈したるに拘はらず、戰禍の悲惨痛苦が數年に亘りて永續するに及びては、多數人民の間に於ける動搖不安の氣は更に一層の熱度を高め、其の極まる所、遂に社會的反抗力爭

の現象となり、先づ之が露西亞に勃發したるものは即ち彼の「ロマノフ」王朝の顛覆、革命新政府の建設でありまして、之に次ぐものは「ホーヘンツォルレルン」王家の退位、獨逸共和國の出現に相違なく、結局歐洲全土を通じて民主的思潮の大勝利に歸する事は、最早毫末の疑を容るゝの餘地があるまいと考へます。

### 二 社會動搖の兆候

然らば斯くの如き世界の大勢は果して如何なる影響を我國に及ぼすでありませうか。

維新以來、我が國は幸にして國內の動亂少く、史上に類例なき長足の進歩を以て能く國家的大發展を遂げ、日清、日露の二大戦役の結果は、遂に此の新興國をして世界一等國の列に伍せしめ、今次の世界戦に際しても、軍事上及び經濟上に於いて、儼然たる大威力を



發揮し、富國と強兵と文化と、三者相並んで東洋の天地に其光彩を放ち、殊に皇室の威望隆々として古今東西の歴史に其の比倫を絶するの盛觀あるは、洵に壯快の極であります。

然しながら、如何に特殊の國體を有し、如何に二千六百年の歴史を有し、如何に極東に於ける形勝の地位を占むるとは云へ、世界の  
大勢が尙其の間に影響し來る事は、何人も之を如何とも爲し得べ  
からざる所であります。現に我國今日の富強と文化とは、言ふま  
でもなく世界的なる産業學術を攝取したる結果であります。然  
らば此の産業學術の攝取と同時に之に隨伴する所の諸種の病弊  
も亦自然に浸潤し來るとは、實に避く可らざる必須の勢でありま  
す。我々は既に久しき以前に於いて猛烈なる自由民權運動の横  
溢をも經驗して居ります。又近來に於いて既に不祥なる大逆事

件の苦味をも嘗めて居ります。其他、労働運動の勃興、危険思想の  
氾濫、亂民群集の暴行等、社會動搖の兆候は頗る歴然たるものがあ  
ります。苟も少しく國を憂ひ世を思ふの人士は、決して是等の現  
象を等閑に附して居られまいと確信いたします。

### 三 社會政策實行の急要

此に於いてか、私は敢て社會政策實行の急要を絶叫するのであ  
ります。貧富の懸隔を調節し、階級の軋轢を緩和し、國體の精神を  
擁護し、歴史の特色を發揮し、我が日本國をして眞に能く世界無比  
なる君民同治の大國家たらしむるの方策、只此の仁政王道の近世  
的發現たる社會政策を實行するに在ると私は考へます。

勿論、社會政策の呼聲は、決して新しきものではありません。政  
治經濟等の學者間に於いては、既に久しく社會政策學會なる者を



設立して、各種専門事項に就いて少からざる研究を費し、又文士論客の間に於いても、常に此の題目に關する議論が繰返され、政黨も政府も亦屢之を以て政綱中の一標語と爲さざるを得ざる機運に到達して居ります。然しながら其名は既に耳に熟し、其聲は既に甚だ高きに拘らず、積極的に其の實行に着手したる者が果して何處にありますか、是れ不肖が此際に於いて、敢て自ら揣らず、社會政策實行の急要を叫ぶ所以であります。

#### 四 私既に實行せる社會事業

私は元來、平民主義者として多少は其の運動にも關係した者であります。少くとも平民主義者の活動に對して之を後援する事を辭せなかつた者であります。従つて政府當局者も一般の世人も、私を目するに一個の危険人物を以てするの有様であります。

然し私は理想家たると同時に實行家でもあります。徒に理想を高唱するの快を貪つて、全く眼前の實行を忘るるが如きは、私の斷じて取らざる所であります。故に私が一時餘りに理想家的方面の發揮に急にして、遂に一世の誤解を招いたのは、私の實行家的方面の事業に對して少からざる障礙を與へる所以であつた事を悟り、爾後心機を一轉して、着々として社會政策の實行に努力いたしました。

私は醫師であります。従つて私は先づ醫業の方面に於いて社會政策を實行するの計畫を立てました。社団法人實費診療所(別項實費診療所開設趣意書参照)の創立は即ちそれでありました。そして幸に實診療所は著大の成功を博し、一年間無慮七十萬人の患者を吸収する盛況を示したるに依り、私は更に一步を進めて、此



の多數なる中流下層の人民を糾合して、一個の有力なる經濟團體、堅固なる生活團體を組織し、以て國家社會の基礎地盤を確立するの方案を立てたのであります。然るに私の同僚は此の理想の意義を解すること能はず、區々たる消極的態度を以て私の方案に反對しまするので、私は遂に斷然として實費診療所を退き、更に獨力を以て生活社なる者を起し平民病院、平民藥局、平民法律所、雜誌「生活の力等」を經營し、(別項生活社の事業參照)尙別に購買組合生活社をも設立し、是等諸種の事業を中心として、漸を以て一個の強大なる人民生活團體を組織するの目的を定め、目下あらゆる努力を以て其の目的の遂行を期して居ります。

##### 五 不肖自ら提唱の任に當る所以

然し私は固より微力の者であります。私の獨力を以てしては、

到底全國に亘りて此事業を擴大するに足らぬとは明白であります。私は只一個の率先者として此種社會事業の先例を作り、模範を示し、他の有力なる人士の更に續々として起つて之に倣はんことを切望するのであります。

然るに私の事業は既に着々として發展の途上にあるに拘はらず、私の誠意の足らざる爲か未だ一人の起つて之に倣ふ者のある事を聞きませぬ。そして世界の趨勢は既に其間に於いて駭々として其の長足の歩みを進めてゐると、前述の通であります。此に於て私は又微力ながらも敢て自ら任じて此の社會政策實行團の提唱を致す次第であります。

思ふに、理想家は徒に其の高遠なる理想に馳せ、其の心事は極めて愛すべきものあるに拘はらず、其の實行の政策に迂なるは洵に



惜むべき所であります。然るに一方貴族富豪の如き社會上流の人士に在つては、其の地位境遇の上よりして、貧者弱者の心情を汲んで充分に其要求を解する事が出来ず、又彼の理想家連の理想が如何にして涌出したるか、如何にして實現せらるべきかを解する事が出来ません。従つて此の兩者の間に立てる政府及び政黨の如きも、遂に何等有力なる積極的の施設を行ふ事が出来ないのであります。

そこで不肖ながら私の如き、理想家の理想をも解し、貧者弱者の要求をも知り、而も社會の有力者と共に能く實行の任にも當り得る者にして、始めて眞に社會政策を提唱するの理由があると確信いたすのであります。

## 六 社會政策實行團の組織と事業

そこで私の提唱する社會政策實行團とは、抑々如何なる組織方法を以て如何なる事業を行はうとするかと申すに、凡そ左の通りの腹案であります。

社會政策實行團は一個の組合と爲し、出資者と援助者と經營者と、及び一般組合員とを以て之を組織し、漸次に左記の事業を開始したいのであります。

購買組合。信用組合。生産組合。簡易質店。簡易食堂。低廉宿泊所。獨身者寄宿所。兒童預所。職業紹介所。低廉病院。低廉藥局。低廉葬儀所。低廉助産所。低廉浴場。低廉理髮所。改良長屋。簡易圖書館。簡易娛樂場。低廉法律所。病災保險。生命保險。養老保險等。

事業開始の場所は、先づ東京、大阪、名古屋等の如き大都市を選び、



漸次に重要な都市に及ばし、遂に全國の有ゆる市町村に及ぼしたいと考へます。

資金は必ずしも最初より多額を要しませぬが、然し充分なる發展の爲には果して何程の巨額を要するか、容易に算定が出来ませぬ。追て概略の豫算案をも作成する積りでありますが、差當り大づかみの所で壹百萬圓位の見積りは必要であらうと考へます。

社會政策は固より慈善事業ではありません。慈善事業は如何に巨額の資金を有するも、遂に規模の狭小を免れず、又其の性質上、經營者の側に於いても、被慈善者の側に於ても、諸種の弊害を生ずる事は、世の既に熟知する所であります。故に社會政策實行團は飽くまで慈善主義を排し、單に平民主義、簡易主義、實費主義、安價主義を以て、多數協力、相互扶助の實績を擧げたいと考へます。

又社會政策實行團は、其の性質上、何等政黨政派の關係を有してはならぬと考へます。如何なる政黨政派と雖、如何なる内閣と雖、斯くの如き公益の社會救濟事業に對して反對すべき道理は無いのでありますから、本團は少しも政治運動の色彩を帯びず、純然たる經濟運動として始終したいと考へます。

#### 七 華族と富豪とに對する希望

社會政策實行團の趣旨は凡そ前述の通りであります。之に對する賛成出資者としては私は先づ華族諸氏と富豪諸氏とに多大の希望を屬するのであります。

華族は皇室の藩塲と稱せられて居りますが、多數華族の態度行爲が今日の如き有様では一般人民の侮蔑を蒙じ、怨恨を招き、遂には却て皇室と人民との間を疎隔する、有害なる一階級と爲るの



虞が無いとも限りません。故に今後の華族諸氏たる者は、宜しく自ら進んで社會公共の爲に盡し、貧者弱者の爲に謀り國民全體を率ゐて相共に皇室を擁護すの覺悟あるべく、斯くてこそ初めて眞に藩塹の實を擧ぐるものなれと考へます。

又富豪資本家たる者は、常に貧民勞働者に近接して之を使用するの地位に立ち、動もすれば其の不平反抗を招ぎ易き立場に在る人々でありますから、自己一身の安全の爲にも、又社會一般の平和の爲にも、必ずや自ら進んで貧者弱者の利益幸福を謀り、彼等をして安んじて其の業に従事せしむるやう、出來得る限りの方法を講ずべきであります。而も若し富豪資本家諸氏にして其の所有する巨大の財力は、其の境遇才能の上よりして、假に社會の爲に之を管理し活用するのであるといふ天職使命を忘れ、單に眼前の私利

私慾にのみ眩惑せられるならば、其の結果として早晚遂に起り來らざるを得ざる國家動亂の大責任は、全く諸氏自身の上にあるものと謂はねばなりません。

されば社會政策實行團の成立の爲には、華族諸氏と富豪諸氏とが、是非とも他に率先して援助を賜はらざるべからざる、正當の理由があるを考へます。

#### 八 社會生活の中心核子

扱、若し斯様にして、私の提案が幸に識者有志の採擇を得て、近き將來に於いて少くとも全國重要都市に本團の諸事業が開始せられまするならば、政府の力にも依らず、政黨政派の争にも關係なくして、上流階級と、下層階級と、富豪と貧民と、資本家と、勞働者と及び其の中間に位する識者有志とが結合して、相互扶助の經濟團體を



形ちづくり、自然に堅實なる社會生活の中心核子を爲し、多年我國に醸成せられつゝある社會的低氣壓は、殆ど之が爲めに一掃せられ、若し更に進んで全國各市町村に此の事業が普及せられますならば、日本國家の全體を舉げて、上下相親睦し、貧富相融和し、眞に嬉々たる春日和煦の好風景を此の佳麗なる國土山川の間に現出する事と確信いたします。

歐洲戦争が民主的思潮の大勝利に依つて、遠からず其の終局を見るべきは前述の通りであります。思ふに戦後に於ける各國の經營は、眞に徹底したる社會政策の實行を以て其の主眼と爲し、殆ど我々の夢想だも及ばざる、大膽巧妙なる諸種の新施設を現出することと思はれます。されば我國として、早きに及んで之と拮抗するに足るの諸方策を確立し、彼れが戦争と革命との慘禍を代償

として、緩かに之を贏ち得るの社會的幸福をば、我は平和の談笑裡に悠々として享樂するは、洵に智者の事であると考へます。斯くして東方君子國の名も亦初めて空しからず、産業の發展も、學術の進歩も、國家の興隆も、初めて眞に大成を期し得べきであらうと考へます。

### 九 本團成立の爲に援助を求む

以上、私の提唱する所は固より只大體の發案に過ぎません。其の具體的の細目に至つては、賛成各位と共に更に充分の講究を加へたいと考へます。又私は單に私の地位經歷上、之を發案すべき適當の人物と自信したるに過ぎませんので、本團成立の後、之が經營の任に當る者は、必ず他に有力なる人士ある事と考へます。

若し夫れ私の現在經營せる事業の如き、本團成立の後、復其の必



要を認めざるに至らば直ちに之を廢絶するも決して厭ふ所でありませぬ。若し又此の小規模なる先驅の一事業をも本團大事業の一部として、其の組織中に包容するを可とするの情勢を生ずるならば、私は固より喜んで之を提供いたしたいと考へます。

何れにもせよ、私は只、日本國民の爲、日本國家の爲、此際社會政策の實行を切望する者で、之を外にして、全く何等の野心、何等の慾望も無いのであります。世上有志の士、翼くは此の微衷を諒とし、本團成立の爲に援助翼賛を賜へ。(大正六年六月)

### 社會政策實行團趣旨

前世紀以來世界列強何れも貧富の懸隔を生じ、上下反目、階級軋轢の不安状態を發し、現世紀に入りて以來、社會動搖の趨勢は險惡

の度を増し、漸く國家存立の基礎をも危くせんとするに至れり。此の大勢の早晚我が邦にも波及し來るべきは數の免れざる所にして、生活問題の壓迫より來る社會動搖の兆候は既に歴然たるものあり。苟も國を愛し世を憂ふるの士は、決して此等の現象を等閑に附すべからず、吾人同志茲に見る所あり、敢て社會政策を實行し、之に依りて貧富の懸隔を調節し、階級の軋轢を緩和せしめんと欲す。蓋し神聖なる我が國體を擁護し、光輝ある歴史の特色を發揮し、我が帝國をして眞に克く世界に無比なる大國家たらしむるには、此の仁政王道の近世的發現たる社會政策を實行するの外に方策あるべからざるなり。

我が社會政策實行團は左記の事業を實行せんと欲す。

平民病院。 平民藥局。 平民法律所。 平民食堂。 日用品廉價販



賣所。職業紹介所。低廉宿泊所。獨身者寄宿所。兒童預所。  
低廉助産所。低廉理髮所。低廉浴場。低廉葬儀所。低廉質店。  
改良貸長屋。簡易圖書館。簡易娛樂場。病災保險。生命保險。  
養老保險等。

事業開始の順序は、先づ大都市より着手し、漸次に全國各地方に及ぼさんと欲す。

元來社會政策は慈善事業にあらず、慈善事業は如何に巨額の資金を有するも到底規模の狭小を免がるべからず、且慈善事業には諸種の弊害の伴ふことは世の既に熟知する所なり。故に我が社會政策實行團は、慈善主義に依らず専ら平民主義、實費主義、低廉主義を以て、多數協力相互扶助の實績を挙げ純然たる經濟運動として終始せんと欲す。幸にして吾人の提案が識者有志の賛成を得

將來本團の諸事業が全國各地方に實行せられて、上流階級と下層階級と、富豪と貧民と、資本家と労働者と、並に其の中間に位せる識者有志とが結合して、相互扶助の經濟團體を形成し、之に依りて多年我が邦に醸成せられつゝある社會的低氣壓を一掃せしむるに至らば、我が國家の全體を舉げて上下相親睦し、貧富相融和し、眞に嬉々たる新社會を現出すべきことは吾人の確信する所にして、又熱心に其必成を期する所以なり。

以上の趣旨に依り、吾人は我が國民のため、我が國家のため、社會政策の實行を切望し、其にまざる者なり。世人有識の士冀くは吾人の微衷を諒とし、本團の爲に援助翼賛せられんことを。

年四月)

日本社會政策

その本團思想



## 予の平和思想

### 日本を公團國とするの議

#### 一 忍び難き誤解

予は醫者である。曩には「社團法人實費診療所」(別項實費診療所開設趣意書参照)を創設し、後之と別れて今は「平民病院」(別項生活社の事業参照)を經營してゐる。予が醫者として國家社會に盡すの道は、正に此種の事業に在る事を確信して、今後益々平民病院を擴張し、予の生命の存続する限り、之が爲に努力する覺悟である。然しながら醫者として以外、予は又一個人の國民として、或は單に一個の人間として、相當に國家社會の爲に盡すべき義務があると考へる。否、同胞人類に對する予の熱烈なる愛情は、予をして必ず

幾分か此の義務を盡さすには已ましめないのである。是に於いて予は從來、諸種の社會問題、政治問題に關して、直接に間接に、常に若干の運動を爲し來つてゐる。そして今では「社會政策實行團」を組織して、予が醫者としての活動以外に於ける餘力の全部を擧げて、之に傾注してゐるのである。

然るに予は久しき以前、社會黨の運動者と多少の關係を有してゐたので、今日に至るまで、官憲及一部の人士の爲に、一種の危険人物を以て目せられてゐる形がある。予は前記の如く獨立の事業を有し、獨立の生計を營み、常に自己の信する所に従つて忌憚なき行動をしてゐる者である。若し其の行動が眞に危険であるならば、危険人物の名稱を蒙るも敢て意とする所ではない。然しながら事實なくして、徒に誤解を受け、爲に事業の發展を阻碍せらるゝ



のは、予の忍び難しとする所である。

依つて予は茲に、予の平生の所信と、現在の事業と、將來の希望とを略説して、根本に於ける予の平和思想を示し、以て大方識者の清鑑に供したいと考へる。

## 二 穩健なる態度

予が一時社會黨と多少の關係を持つて居たのは、畢竟社會主義者の中に友人を有してゐたからで、予は只義侠的に其の友人を援助したに過ぎない。

勿論、予の平和思想と彼等の思想と共通した點は決して少くない。さればこそ義侠的とは云へ彼等を援助するに至つたのであるなれ。然し予は醫者である。醫者として國家社會に盡すは予の第一の任務である。如何なる他の思想も運動も、予としては斷

じて此の第一任務を妨げる事を許さない。故に予は社會黨に多少の援助を與へ、又相當の同情を寄せてゐたに係はらず、醫務を抛つて其の實際運動に干與した事は斷じて無いのである。

然るに社會黨は其の後次第に矯激に流れる傾向を示して來た。夫には種々の原因もあらう。例せば昔の自由黨が一時甚だしく粗暴に流れたのと同じ様な成行でもあらうかと考へる。然し兎にかく予は其の傾向を好まなかつた。けれども又、一時粗暴に流れた昔の自由黨が終には今日の政友會になつて居ると同じく、社會黨と雖之を善導せば、必ず他日穩健なる運動になるに相違ないと考へないでも無かつた。

然し予は矯激なる社會黨の卷添を食ふは本意でないので、成るべく之と遠ざかるに勉め、又恰も其頃醫學研究のため再度の洋行



を企てゝゐたので、それを幸此の卷添の危険を避けるため歐洲に向つて出發した。

歐洲では其時丁度、社會黨及労働者組合の國際大會がスツットガルトに開かれて、硬派と軟派との間に激烈なる論争が有つたが、謂ゆる軟派の國家的で、漸進的で、秩序的なる態度が多數を占めてゐた。予は其の形勢を見て、益々予の從來の態度の誤らざる事を悟り、日本の社會黨にも書を送つて切に穩健なる態度を取らんことを勸告したのであつた。

### 三 中流貧民の救済

其後予は歸朝して更に我國の形勢を察するに、貧民労働者に自覺のないのは云ふに及ばず。上中流の階級に於いても殆ど無我無中であつて、要するに一般人智の進歩が歐洲に比べて五十年も

百年も後れてゐる。勿論是には經濟上の状態から生ずる理由もあるもので、中流及び下層の生活困難は随分甚だしくなつては居るものの、資本労働の衝突がまだく、歐洲ほど甚だしく現はれてゐない。従つて社會思想と國家思想との區別もつかず社會事業と慈善事業とが混同せられたりしてゐる有様である。

然るに我國の社會黨は其下に於いて益々矯激に流れて來た。予は彼等の志に麗はしい所のある事を善く知つてゐるが、惜しいかな其の手段を誤つてゐる。予は益々彼等と事を共にすることの不可能なるを悟つた。歐洲に於いてすら前記の如く漸進主義が多數を占めてゐるのに、我國の様な萬事に後れた國柄として、一時に急激なる變化を起さうとするのは實に一層の空想に過ぎない。予はいよいよ決心して全く別の道を取る事にした。



元來予は理想家であると同時に實行家である。理想家としては遠い將來の理想も抱くが、實行家としては眼前に實行の出来る事ではなくては決して着手しない。さうして實行家として、而も既に老境に入つてゐる予が、五年経つても十年経つても容易に端緒も開けまいと思はれる様な、そんな空想的事業に關係しては居られない。そこで予は極めて實際的な、眞の眼前應急策を以て予の唯一の事業とする事に決心した。

其の前後に、大井憲太郎君などが、新に勞働運動を起しかけた事があつたが、それもまだ時機でなかつた。又鈴木文治君などが友愛會といふのを起して、勞働者の組合を作りかけて居るが、夫すら容易に發達しさうもない。要するに我國の社會運動はまだくゞブツト後れる者と考へねばならぬ。そこで予は特に勞働者と云

はず、又必ずしも下層民と云はず、廣く一般の薄給者、就中予の謂ゆる中流貧民を目安として、幾分なり之を救濟し、之を教育し、之を指導して、經濟的に共同生活を營むの思想習慣を養はせ、それに依つて漸次に堅實なる社會的進歩を遂げさせたいと考へた。

#### 四 社會政策實行團

予が「社團法人實費診療所」を創設したのは、實に斯ういふ動機と決心とからであつた。即ち予は醫者として、自分の最も手近な所に先づ予の計畫の實施を試みた。實費診療所は謂ゆる中流貧民に對して實費診療の救濟方法を與へ、同時に多數なる患者の間、及び患者と従業員との間に經濟的相互扶助の關係を作らうとしたのである。故に當時予は、診療所と相並んで別に「生活社」といふを設け、患者と従業員との生活上の組合を作るに勉めた。



然るに其後、診療所の経営方針に就いて予と鈴木梅四郎氏との間に意見の衝突を生じたので、予は遺憾ながら同所と分離して、新に現在の「平民病院」を起した。平民病院は其名の通り平民の病院であつて、薄給者、労働者、店員、學生等のため、特に其の診療に従事する所である。是れ即ち亦謂ゆる中流貧民救済の主意である。然し予は之だけでは満足する事は出来ない。診療の事は固より大切であるが、更に夫以外、日常の衣食住一般の事について何等か多少なりとも救済の方法を立てたいと考へた。そこで同志の諸氏と相謀つて「社會政策實行團」なる者を設け、有らゆる社會政策的事業の實行を計畫してゐる。

「實行團」の事については別に趣意書（別項社會政策實行團趣旨書参照）もあるから精しい事は茲に省くが、其の既に着手したる主な

る事業の一例としては「平民法律所」「平民食堂」の如きがある。「平民食堂」は一食八錢乃至十錢の廉價を以て、衛生的なる食事を供給してゐるので、非常に社會の歡迎を博し、現に一日數百人の來食者を有してゐる。そうして其の來食者は悉く「實行團」の團員になつてゐる。

一體、日本人は團結力の鈍い人種で、支那人などが個人主義的だど云はれながら、尙甚だ善く經濟的に團結するのに比べて、及ばざること遠しである。故に予はせめては「平民病院」の患者、「平民食堂」の來食者などを糾合して、其の間に「實行團」の團員たる關係を結ばせ、自然の間に相互扶助の利益を悟らせ、徐々に彼等の自覺を促がし、以て經濟的團結の思想習慣を作らせたいと考へて居るのである。



予は實に斯くの如く平和的にして堅實なる實際的施設に努力して居るのである。然るに予に對する或種の誤解はまだ全く消えて居らぬ。

##### 五 不可解なる政府の干渉

前にも云ふ通り、予は必ずしも誤解を恐れる者ではない。予は只予の信する所に従つて行動すれば善い。何等疚しき所もなく、何等憚る所もない。然し折角事業を計畫したる以上出来るだけ夫を發達させたいのは無論であり、又それが予の義務であると思ふ。そこで詰らない誤解にせよ、若しそれを去り得るものならば、去らせて置きたいのである。

政府官憲は一體予を何と見て居るか知らぬが、從來の仕打は随分甚だしいものがある。予が名古屋の分院などに出張すると、大

概いつも刑事が尾行して來る。病院の業務に何の疑はしい點があるだらう。又前に記した生活組合の事にせよ、政府は何のかのと云つて、多數平民の加入を妨害する様な仕向をする。政府としては頻りに産業組合を奨勵して置きながら、予等がそれをやらうとすれば、何か不安な氣でもすると見えて、努めて少額の出資者を除外させ様とする。多額の出資の出来る程のものなら保護も救済も大して必要はない。少額の出資でも六かしい程の多數の人民に對してこそ、購賣組合なり何なりの必要があるなればではないか。又食堂の事についても、あれほど多數人が歓迎する所を見れば、正にそれが社會の切實なる要求に合してゐる事が分る筈である。然るに政府は尙何か猜疑の目を以て之れに臨んでゐるらしい。



是程明白なる、是程分り切たる、平和なる、堅實なる、穩健なる、有益なる事業に對して、政府が尙干涉や妨害を加へるとすれば、天下に吾々の行ふべき事業は無くなつて了ふ。然し予は飽くまでも忍耐してゐる。現に先頃普通選舉運動の少しく起りかけた時、予も多年の唱道者として幾分の關係を有して居たが、政府が此の合法的の運動に對してすら、尙苛察なる迫害を加へて來たので、予は已むなく斷然として運動から引退した。予としては普通選舉運動に些の危険ありとも信じ得ない。斯ういふ運動があつてこそ、初めて平和的なる政治界の改革が出来るなれと信じてゐるが、然し夫も仕方がない。予は今のところ「社會政策實行團」が大切である。此の經濟運動の發達の爲には、姑く他の何物をも犠牲として構はない。そこで予は右の機會を利用して、今後斷然直接の政治運動

に關係しないと云ふ宣言を發表した。予は實にそれ程まで隱忍して、此の有益なる實際的施設に熱中してゐるのである。

今や「實行團」には社會各方面の有力なる人士が加入せられて、漸く發達の端緒につきかけてゐる、食堂も更に擴張せられるであらうし、病院にも尙幾多の改善を加へる積りであり、其他種々新事業の計畫が着々として立ちかけてゐる、勿論それには少からぬ資金の必要もある。従つて資力ある人士の贊助聲援をも求めねばならぬ。然るに只予に對する一種の嫌疑と誤解とがある爲に、色々不便を感じ、迷惑を受ける事が少くない。それでは予として不本意であるばかりでなく、他の團員諸氏に對して甚だ相濟まぬ次第である。依つて少しく此様な辯解をも試みるのである。

## 六 予を信じて予の志を行はしめよ



尤も、予は今日でも社會主義者中に友人を持つてゐる。然し事業は事業、友人は友人である。事業を異にし、意見を異にしても、友人は矢張り友人である。若し其の友人を棄てよと迫るなら、それは即ち人情を棄てよ、道徳を棄てよと云ふに同じ譯である。如何に固陋なる人でも、其邊の判別は附きさうなものである。

前にも云ふ通り、予は既に壯年者ではない。心身幸にして強健ではあるが、生物必然數として、既に幾許の餘命をも存して居らぬ。只樂しむ所は、生前に於いて爲し得る限りの世益を謀るに在る。殊に實行家、實際家たる予の特質として、只眼前に實現し得る事のみに興味を存してゐる。且予は幾許の資産をも有して居らぬが、日々の勞働より生ずる収入は、一家の生活を支持して、尙多少の餘利がある。予は此の餘利を擧げて、世益的事業の爲に消費し盡す

事を得て、最大最後の樂事として居るのである。予は予の事業に賛否の批判を與へんとする諸君子が、特に此點に對して同情と諒察とを賜はらんことを切望せざるを得ぬ。

若し又、予が是ほどに陳辯するにも拘はらず、尙飽くまでも予の危険性を疑ふならば、寧ろ正面からして予に一切の事業を止めよと云つて貰ひたい。面と向つては頻りに其の事業の善美を譽めそやし、陰に廻つては直ちに之を妨害すると云ふが如きは、餘りに隱險に過ぎはせぬであらうか。

予は止めよと云ふなら何時でも止める。予は元來、一世に率先して社會政策の模範を示せばよいと考へてゐる。只謂ゆる其備を作ればよいと考へてゐる。固より幾許もなき餘命を以て、又貧弱なる資力と才力とを以て、到底幾多の大事業を完成し得る筈が



ないのである。然しながら若し予をして此の事業を抛たしめるならば、其の代り政府自身が大いに之をやるべきである。市町村自身も亦大いに之をやるべきである。世の謂ゆる仁人君子識者先覺も亦自ら進んで大いに之をやるべきである。只それ等の有力なる諸機關、若くは諸人士が、口には徒に之を唱道しながら、實際には死ど何等の行動をも取らないので、そこで予等の小事業すら尙頗る社會の注意を牽いてゐるのである。

予等は固より世の富豪資本家に對して多大の希望を囑してゐるものではない。然し富豪資本家中にも稀には涙のある人、俠骨のある人が無いではあるまい。若しそれらの涙ある人、俠骨ある人が、予等と結んで予等の事業を助けるならば、それこそ即ち時代の進運を助長して、軋轢を緩和し、反目を輕減し、圓滿平和の裏に社

會の變轉を成就させる道であるなれと信ずる。然らば則ち政府としても、識者先覺としても、寧ろ進んで予等と夫等俠骨富豪との結合を媒介しても善い筈である。然るに事實上、尙其の結合を妨げるが如き形迹があるのは、予の如何にしても理解し得ざる所である。

要するに、若し予の事業を以て善美なりとするならば、願くは姑く予を信じて、充分予の志を行はしめよ。そして若し予の行動が明に危険の事實を示すならば、直ちに之を叩き潰すがよい。其時に於いては、予は只謹んで引退するのみである。

予には何等の秘密もない。固より何等の陰謀もない。只一身の殘年を捧けて、此の穩健中正なる經濟的運動に貢献したいと云ふ野心を有するのみである。若し幸に予を信する人士あらば、政



府の當局にせよ、社會の識者にせよ、若くは資力ある俠者にせよ、願はくは來つて予を助けられよ、是れ決して予一身を助けるのでなく、實に多數の中流貧民を助け、従つて又國家社會の進運を助ける所以である。

### 七 日英兩國の榮譽

最後に少しく予の戦後經營策を述べて、予の平和思想の根本を示したいと思ふ。

先頃金子子爵の談話として新聞紙に掲げられたのを見ると、將來世界の帝國は英吉利と日本との二つ丈になるであらうと云ふ意味の一條があつた。如何にもさうであらうと予も考へる。日本と英吉利との二帝國が地球上の名物として残る事は、誠に芽出たい譯である。然しそれには日本國民として、今少し雄大なる、高

遠なる平和思想が必要である。

佛蘭西には前世紀にあの通り猛烈なる革命が有つた。露西亞も今度の戦争中にあの通りの革命を起した。支那は支那であの通りの始末である。之を外國の事として輕薄なる考へで見るときには、チヨット痛快に感ずる士もあるか知れないが、實は人類を通じての恐るべき不祥事なると云ふまでもない。そしてそれは皆、政府と人民と共に其の行動を誤まつた結果である。佛蘭西帝政の暴虐、露西亞帝政の壓制、支那帝政の頑迷、及びそれ等に對する各國民の暴力的反抗、皆それらの罪惡と過失とを敢てした報が、即ち彼の悲惨なる革命となつたのである。今後獨逸、埃甸等の諸國亦悲惨事ありとせば、それも矢張り政府と國民とが、共同の無智を逞うしたる結果である。そして英吉利が獨り此の悲惨事を免れ



て、悠然として其の麗はしき帝政を續けてゐるのは、即ち彼れの政府が徹底せる自由主義、民主主義を以て人民に臨み、人民亦常に穩健なる合法的運動を以て政治改革を要求して來た、其の上下協同の平和政策の結果である。そしてそれが本統の文明的革命心と謂ふ事も出来る。

彼の極端なる社會主義の一派の如きは、口癖の如くに革命を叫んでゐるが、現に露西亞革命の彼の現状はどうであるか。ケレンスキーも理想と現實との矛盾に狭まれて没落し、レーニン一派も今や殆ど進退に究してゐるではないか。獨逸將來の革命も恐くは長年月に亘る大混雜を免れないであらう、凡そ斯くの如き暴力的革命の悲惨と痛苦とを避けて、平和的、文明的の社會改革を成就させる事が、即ち賢明なる國民の最も留意すべき所ではないか。

予は今後前記の通り、直接には何等の政治運動にも關係せぬ事を宣言したのであるが、然し朝野の政治家及び其他一般の政治運動に對して敢て右の如き平和的希望、文明的理想を以て其の行動を律せんとも切望せざるを得ぬ。そして予が只管經濟團體の組織に依つて、社會政策の實行に努めるのも、亦自から斯くの如き平和的改革の素地を作らんと欲するに外ならぬ。

#### 八 世界の大公園

然しながら若し我國が、一部の好戰主義者の熱望するが如く、偏に兵力の強大に誇り、殖民地の獲得、勢力範圍の擴大等を夢想して、謂ゆる軍國的帝國主義の政策を取るならば前記の如き平和的進歩は殆ど絶望と云はねばならぬ。

故に予は我國に於ける戦後の經營策として、敢て左の一案を提



出する。日本國は宜しく「世界の公園」を以て自ら居るべし。日本の風光は世界各國人の皆齊しく讚嘆して居る所である。若し日本が過大なる軍備を棄て、偏狹なる人種的感情を去り、東洋に於ける一個の極樂郷として立つならば、世界各國人は自から來り集つて、此の大遊園地を保護するであらう。

勿論、此の「世界の公園」を保護して、暴力者の侵入を防ぐ爲には、多少の軍備も亦必要であるかも知れぬ。歐洲の政争以外に超然たる羅馬法皇の政廳にも、兎にかく名目上の兵隊がある。然し日本國民の全部が皇室を擁して、此の大公園を守護する時、決して特殊なる武力を用ゐるの必要はあるまいと考へる。現に今度の戦争でも、歐洲の公園と稱せられる瑞西は、飽くまで中立國として何等の蹂躪をも侮辱をも蒙つて居らぬ。尤も白耳義も中立國であり

ながらあの通りの災に罹つてゐるが、あれは主として白耳義が他の列國と利害關係を有する工業國であつたからで、若し瑞西の如き公園的中立國であつたなら、決してあんな目には遭つて居なかつた筈である。

故に予は何處までも、日本が利害關係を離れたる眞の大中立國となり、「世界の公園」「東洋の極樂郷」を以て自ら居り、全世界各國の人民をして、富士山と共に我皇室の高く麗はしきを仰がしめる事にしたいと考へる。日本は今歐洲戦争のお蔭で寧ろ分不相應に金も出來てゐる。此上何も過大なる軍備を維持して、ムザムザ其大金を費消するにも及ぶまいではないか。若し又大公園的設備に巨額の資金を要すると云ふならば、それは米國あたりから幾らでも輸入する事が出来る。「世界の公園」は世界の資本に依つて建設



すべきである。そして日本は公園の主人として正當に其の利益を取らすべきである。若し果して斯くの如く我國が大中立國、大平和國として東洋の中心に屹立し、國際會議も茲に開かれ、國際裁判所も茲に開かれると云ふが如き形勢に到達せば、それこそ即ち眞の意義に於ける帝國主義の發揮なれ。東洋の霸王など、云ふが如き、區々たる名稱に何の誇りがあるか、日本國民は宜しく世界平和の指導者となるべき大抱負を有すべきである。其の時は始めて英吉利と日本と、東西二個の大帝國が地球上の名物として、眞に燦然たる光輝を放ち得るであらう。

### 原内閣總理大臣に與へし意見書

内閣總理大臣原敬閣下

閣下の新内閣が政黨内閣として又平民内閣として尠からざる期待を以て一般國民から迎へられて居る事は閣下の充分に知了せらるゝ所と信じます。自分も亦國民の一員として此國家危急の際、斯くの如き新内閣の下に立つ事を歡喜する一人であります。然しながら自分は未だ不幸にして閣下の新内閣が此の危急の際に應ずべき何等かの大膽明快なる政策を實施せられた事を見聞するの機會を有して居りませぬ。此に於て僭越ながら少しく自分の所思を陳じて敢て閣下の清鑑を仰がんと欲する次第であります。

閣下、世界の大戰争が最近に於いて急轉直下の勢を以て終結に歸した事は眞に慶賀すべき所であります。然しながら戦争の終結は單に社會大進展の外形上に於ける一段階であつて、世界人類



の大平和に到達すべき道途に於ける眞の大難關は猶ほ今後に存する事を思はねばなりません。露西亞、獨逸、其他に於ける革命進行の有様は閣下が日々の外電に依つて看取せらるゝ通りであり又英佛米等の聯合諸國が此の革命の趨勢を善導せんが爲、外交上及び内政上に於て取りつゝある其の苦心慘愴の政策は亦た善く閣下の知悉せらるゝ所であらうと考へます。

閣下が此時に際して講和條件の研究、講和使節の派遣及び其隨員の人選等、萬遺漏なきを期して勵精せられつゝあるは自分も亦た之を多とするに躊躇せぬ者であります。然しながら自分をして忌憚なく言はしむれば是等の事は抑々末であります。此の切迫せる世界大變轉の時機に於いて眞に善く國家の進運を確保せんが爲には、先づ國內の組織と施設とをして十分に大勢の趨向に

順應せしむる事が急要であります。外交の折衝は固より大事でありますが、外交は畢竟内政の發現であります。國家の基礎根本たる内政の組織施設が確立せざる限り有力有利なる外交の行はれ得る道理がありません。先進歐米諸國の外交と雖も皆各自の内政に應じて自然に其の發現の色彩を異にして居るものであります。

然らば歐米列國に於ける内政の状態は如何と云ふに、之を一言にすれば前記露獨其他の革命と、及びそれと聲息相通せる、或はそれの感化影響を受けたる各國內の平民運動とに對する、調和互讓の方法を以て現時政策の中心點として居るものと自分は考へます。更に之を換言すれば、全世界に漲溢せる民本的趨勢に對し、如何にして之を善導し、如何にして犠牲少なく平和的進展を遂げし



むるか、識見ある各國政治家の苦心努力しつゝある所であろうと考へます。閣下は此點に關して果して如何なる新政策を立てられたるのでありますか。閣下は勿論政黨内閣の首相、平民内閣の首相として、我國家を民本的に改造し世界大勢の趨向に順應せしむるの抱負を有して居らるゝでありませう。只惜いかな、閣下の抱負は未だ何等の具體的形式を以て國民の眼前に示されて居りませぬ。從來歴代の内閣は皆齊しく偏狹なる保守的態度を取り、多數民衆の利益幸福の爲に云爲行動する者に對しては直ちに之を危険思想若しくは危険人物なりとして、直接間接の壓迫を加ふるの例でありました。自分は久しく諸種の社會運動に關係し、近來に於ては實費診療所、平民病院等の事業を起し、最近に於ては又社會政策實行團を組織して、中流以下の多數民に對する自助的

救濟事業に努力して居る者であります。が常に種々なる方面よりして干渉妨害を蒙り、爲めに事業の發展が意の如くならざるの實狀を呈して居る次第であります。閣下の新内閣は固より前諸内閣と異なり、自分等の國家的社會事業に對して爾く無意義の壓迫を加ふるの意志なき事を確信いたしますが、然し警察其他人民に直接する官僚は猶ほ昔日の官僚でありまして、民衆の爲にする一切の事業運動に對し依然として之を敵視する態度を取つて居るのであります。自分は特に此點に就て閣下の明察を乞はんと欲する者であります。

世界の氣勢が各國内の平民運動に對する調和互讓を以て現時政策の中心點と爲すこと前記の如くである以上、我國と雖もいつまで官僚的專制思想を以て國民の信望を繋ぎ得ないとは明瞭で



あります。思想の自由を束縛し民衆運動の自由を壓迫する事に於いて最も甚しきを極めたる露西亞は、革命の勃發に於いても亦た最も慘憺たる状態を現はして居ります。獨逸は軍閥の跋扈とカイゼルの横暴との爲、遂に彼れが如きの末路を示して居ります。然しながら國內社會黨の組織が既に久しく整然として徐ろに其の實力を扶植し居りたるが故に、革命後の今日、善く其の國家的秩序を保持して露西亞の如き混亂に陥らざるを得て居るのであります。若し夫れ英佛等の諸國に至つては、其の平生の自由制度の結果として、社會黨労働黨は次第に其の勢力を増大するに係はらず、何等革命的の不祥事を見る事なく、平和の裡に國家の改造を遂げ社會の進展を全くせんとして居るのであります。殊に英吉利の如き、前世紀以來、世界の革命的亡命者を悉く倫敦に收容して

殆んど相關せざるが如きの寛大を示したる國に於て、革命的慘事の今後に出現すべき蓋然性を有すること最も少なきの事實は、後進他國の深く以て鑑と爲すべき所であらうと考へます。故に自分には此際に於て、閣下が此點に關する大膽明快なる自由寛大政策の實施を切望して止まないのであります。

今や歐米諸國は殆んど皆既に社會主義的の國家であります。ウキルソン大統領やロイド、ジョージ首相が、或は國際聯盟の組織を提唱し、或はデモクラシーの徹底を力説するのは、畢竟するに社會主義的國家の建設を理想とするのであります。社會主義の一語は我國に於いて甚しく嫌疑せられ、直ちに非國家主義、無政府主義として恐怖せられて居りますが、既に獨逸に現はれたる社會黨内閣に見るも、又英佛等に現はれつゝある社會主義的政府に見る



も、從來の政府、從來の内閣に比し、何等根本的の差異は無いのであります。戦前に於いて幾多の社會政策を實行したりし列強の政府が、戦時中に於いて一層徹底的に其の傾向を擴大し、今や戦後に於いて純然たる國家社會主義を實現せんとして居るに過ぎぬ。換言すれば、各國皆な資本階級の横暴を抑制し、中産階級と勞働階級を調和互讓して以て國家社會の安全幸福を計らうとするのであります。此の傾向趨勢は我國が之を嫌忌すると否とに拘はらず、又之を恐怖すると否とに拘はらず、日々刻々に進展して遂に全世界を支配するに至るべきものであります。されば我國たるものが、此の戦役の重大時機に際して、有らゆる社會主義的思想を一括して全然之を敵視し排斥せんとするは斷じて不可能の事であります。

若し我國が從來の如く各種一切の社會主義的思想を敵視し、全然世界の太勢に逆行するの態度を持し、之を以て敢て講和會議に臨まんとしますならば、それこそ實に危険の極であります。獨逸が其の特殊なりと稱する自國の文化を強調して、謂ゆる獨逸至上主義を呼號し、其の理想的聲言の實質たる軍國主義の武力を以て横暴を逞しうし、遂に全世界を敵として其包圍を蒙り、結局民主的憲法の建設を強要せられて彼の革命の勃發を見たのは、眞に前車の覆轍として熟考すべきものであります。自分が外交を末とし内政を本とするのは即ちこゝの意味でありまして、若し我國が講和會議に於いて有力有利なる外交上の効果を擧げようとするならば、先づ内政に於いて斷乎たる革新を施し、基礎鞏固なる民本的政治を確立し、列強と相提携して世界改造、人類向上の大任務に



貢献するの覺悟を定め、着々として其の準備に従事する事が必要であります。

故に自分の希望する所は、閣下が此際に於いて斷乎として民本的態度を明にし、有ゆる主義、有ゆる思想、有ゆる學說を取りて之を比較研究し、十分なる自由寛大の態度を以て有ゆる人物と有ゆる運動とを包容し、眞に全國民の力を合して之を善導するに努め、以て此の危急の時機に於ける國家の進運を助長し、悠悠々として平和的社會進化を完成せしめられん事であります。即ち言論の自由、結社の自由、運動の自由、普通選舉の實施、社會政策の徹底等は其主要な政策であります。閣下にして若し是等の事を無視し、或は舊來の屬僚輩に誤られて、猶ほ依然として民衆を隔離し、謂ゆる危険人物を繼子視し、謂ゆる危険思想を嫌忌せらるゝに於いては、思ふ

に閣下は遠からずして危険人物と危険思想との多きに堪へず、遂に意外なる大禍難を惹起する虞が無いとも限りませぬ。切に閣下の御熟慮を願ひたいと存じます。(大正七年十二月)

### 波多野宮内大臣に與へし意見書

宮内大臣子爵波多野敬直閣下

自分は職業上より申せば一個の醫者でありますが、多年思を國家人民の上に寄せ、兩回歐米に遊んで文明先進國に於ける社會的施設を考察し、一日も早く之を我國に應用するの急務なるを痛感し、先づ其の一着手として自己の職業に關する方面に多少の計畫を定め、數年前「社團法人實費診療所」を起し、後故ありて同所と分離し、新に「平民病院」及「平民藥局」を經營し、中流以下の多數薄給者に對



して成るべく低廉の費用を以て診療を普及するの方策を講じ、現に本院の外、東京、横濱、名古屋、大阪の四地に於いて五ヶ所の分院を有し、頗る社會の歡迎を博して居ります。

然しながら社會的施設は固り之を以て足れりとすべきではありません。貧富懸隔の増大、多數人民の生活困難が日一日と甚だしきを加へ、社會全般に亘りて不安動搖の氣が漲り溢るゝを見るにつけ、自分は更に一段の覺悟を以て自己に下されたりと信ずる社會的使命の爲めに盡瘁するの決意を爲し、曩に同志と謀りて「社會政策實行團」を組織し、各種の方面に於いて幾多の社會政策的新事業を開始し、猶ほ從來の「平民病院」及び「平民藥局」を擴大するの計畫を立て、爲に「病院」及「藥局」は日を逐ふて堅實なる發展を遂げつゝあり、又「平民食堂」の如き新事業も實に顯著なる好成績を示し爾後續

々として遠近に模倣者を出だすの勢ひであります。只微力なる自分として、斯くの如き痛切なる社會の要求に應ずる新事業に着手しながら、全国各地に亘り更に十分に之を普及せしむるの實効を奏し得ぬのは、深く遺憾とする所であります。

然るに近時に至り内外の形勢は彌々切迫を極むるものあり、殊に最近歐洲に於ける大戰の終結と共に、社會思潮の激動激變は眞に慄然として恐怖すべきものがあります。露國の事は申すも更なり、獨國の事埃匈國の事、其他相率ひて其風に倣はんとする諸小邦の事は等は自分が一々縷述するまでもなく、賢明なる閣下の既に十分御看取ありたる所と確信いたします。

我國は固より二千五百年來の特殊なる國體を有し、明治維新の變革を経て國礎いよゝゝ鞏固となり、更に明治大正年間に於ける



憲法政治の發達に依り、謂ゆる萬世不窮の國運をして只益々隆昌に赴かしむべきを何人も疑ひを挾まぬ所でありましたが、然しながら古今未曾有の大戦亂に伴ふ世界人心の大變動が、或は徹底せるデモクラシーの新要求となり、或は國際聯盟、民族自決等の新提唱となれるの今日、我帝國としても亦たをのづから之に順應するの大策が必要である事は、自分が取り立て、申すまでもありますまい。

此に於いてか我國の識者間にも既に英國君主制の例に倣ひ、神聖なる皇室をして高く政争の上に超然たらしめ、直接施設の責任は總て之を輔弼の國務大臣に負はしめ、至尊は只萬民の父として仁慈の權化となり、謂ゆる民の心を心となし、民の富を以て富と爲すと例へば其上の仁德聖帝の如くならしめざる可らずと主張す

る、真正なる忠君愛國の士を出してゐるのであります。自分は久しく故土方久元伯と親交を辱ふし、曾て幾度か同伯を通じて、皇室と人民とが更に一段の接近を必要とするの意見を宮内當局に呈した事があります。即ち自分の見る所に依りますれば皇室は一面に於いて直接政治上の責任に超越すると前記論者の意見の如くし、他の一面に於いては全く多數民心の代表として、眞に君民一體の實を示さるべきものであると確信いたします。從來一般に華族を以て皇室の藩屏とするの説が行はれて居りますが、華族は勿論其特殊の地位よりして皇室を擁護し奉るべきでありますけれども、若しそれが爲め、皇室を擁護する者が華族のみであると云ふが如き誤解謬見を生せしめては誠に由々しき大事であります。自分の見る所に依りますれば、日本國民たる者は一人残らず悉く



皇室を擁護するもので無くてはなりません。故に皇室の藩屏は必ずしも華族に限らず、日本國民の全部を以て直ちに皇室の藩屏と爲し、民の心は即ち君の心と云ふ君民一體の實を示す事が今日の急務であると考へます。歐米に於て唱道せらるゝ謂ゆる「徹底せるデモクラシー」亦た實に此意に外ならぬものであります。

之を要するに、我國今後の憂とする所は、當路爲政者の過誤失策が累を皇室に及ぼす事なきかの點にあります。皇室をして人民の怨府と爲すが如き愚昧の政治家が現出しやうとは殆んど想像の出來ぬ所であります。然しながら亦時として謂ゆる袁龍の袖に隠れて私威を張り私福を充たさんとする、奸惡なる當路者を見る事が絶無であるとは限りません。故に自分と致しては是非とも此際に於いて、宮内の當局者が全然政府の行動から獨立して、

皇室をして直ちに國民に接近せしめ深く皇室の仁慈を多數民心に感銘せしむるの方策を取られんことを切望するのであります。それが即ち我國固有の國體を保持し、益々其の光輝を發揚しつつ、斷じて世界人心の變動に累せられぬ最善の道であると確信いたします。

以上縷述いたしたる所に基き、自分が特に閣下の御熱慮を煩はしたいのは、右の如き君民親和の實を擧ぐるが爲め、宮内省が一日も早く自ら進んで各種の社會的施設に對し有力の援助を與へられん事であります。從來皇室及び宮内省が諸種の慈善事業に對して保護獎勵を與へられたのは勿論甚だ善美なる事であり、自分が、自分は特に之を社會政策に應用せられん事を切望いたします。慈善事業が其の性質上、必然に規模狭少にして亦た常に幾多の弊



害を伴ひ、其名の徒らに美にして其實の幾許も擧らざるは、世上一般の齊しく認むる所で、今更自分が申すまでもありますまい。故に今後に於いて、君徳の高大深遠を示すに足るべき其の救済的施設は、只各種社會政策の保護獎勵に存するのであります。無數に發生しつゝある極貧者に對して、殆んど名目のみに過ぎざるが如き慈善を行ふと、多數なる中流下層の一般人民に對し、社會政策を以て其自立自活を誘導し扶掖すると、其の長短得失は殆んど同日の論でないのであります。

されば前述の如き自分の事業、即ち「社會政策實行團」の如き、亦た必ず閣下の一顧を得べきものである事を確信いたします。「實行團」は曩に土方伯の熱心なる贊助を得て、同伯指導の下に種々畫策しつゝ、あつたのであります。今や伯は溘焉として長逝せられ「團」

は實に重大なる打撃に惱んで居る現状であります。是れ即ち自分が敢て閣下の尊嚴を冒し茲に微衷を陳じて閣下の賢慮に訴ふる次第であります。閣下冀くは清鑑を給へ。恐惶頓首。(大正七年十二月)

### 華族に與ふ

謹んで日本帝國の華族各位に訴ふ。

各位は皇室の藩屏と稱せられ、特殊の禮遇を受け、諸種の特權を有し、高く一般國民の上位に立たるゝ人々であります。各位が君を思ひ民を思ひ、常に國家社會の安寧幸福を以て念とせらるゝは、私の堅く信せんと欲する所であります。

然るに今や我邦に於ける貧富の懸隔、上下の軋轢は日一日と甚



だしく、社會を擧げて不安動搖の氣に充たされ、時としては意外なる擾亂を惹起し、殊に世界大戰の結果として、露獨塊等に於ける革命思想、及び英佛米等に於ける民主主義の滔々として氾濫し來るものあり、特殊なる國體と特殊なる歴史と特殊なる國民とを有する我邦と雖も最早や、斷じて晏如たるを許さざる趨勢を呈して居ります。各位は果して之を如何に見玉ふのでありますか。

私の見る所に依りますれば、人心動搖の禍根は社會の財力を占有せる富豪資本家中の無識者が動もすれば横暴驕奢を恣まゝにし、國家社會の福利を思はず、只管私利益の追求に耽り、其の結果は多數國民をして慘憺たる生活困難に陥らしめ、謂ゆる陛下の赤子をして相率ゐて餓孚たらしむる所に存するものと思ひいたします。是等の事につき、私は曩に總理大臣と宮内大臣とに意見書を

呈し區々の微衷を陳じた事でありますが、其の趣旨は何卒別紙寫に依りて御看取を願ひます。要するに今日の急務は宮中府中及び官民朝野一致の力を以て一面に横暴驕奢なる富豪資本家に抑制を加へ、一面に可憐なる下層人民に對する救濟の諸策を講じ、眞實に君民父子の情義を徹底せしめ、以て國家の隆昌と社會の繁榮とを計るべきであります。

此に於いて私は特に華族各位の御熟慮を仰ぎたいのであります。各位は前申す通り皇室の藩屏として高く一般國民の上に立て居らるゝ人々であります。若し各位が右の如き社會の情勢に對して寄與貢獻する所がありませんれば、國民は遂に華族なる者が何の故に存在するかを疑ふに至らぬとも限りませぬ。或は更に一步を進めて、謂ゆる皇室の藩屏とは其實、君德を雍蔽し民心



を疎隔する牆壁に過ぎぬと云ふが如き、誤想を抱くに至らぬとも限りませぬ。現に東京帝國大學教授にして憲法講座を擔任せる上杉愼吉博士の如き人物すら、君民の間に介在する障礙物として華族階級の廢止を唱道して居る有様であります。若し各位にして眞に皇室の藩圻たる任務を盡し、國家有用なる一分子たらんことを期せらるゝならば、此際大いに自ら進んで社會救濟の施設に盡瘁せられ、君徳を民間に傳へ、民心を君側に通ずるの御畫策ありて然るべき事と確信いたします。

私は別紙記す所の如く、曩に社會政策實行團なるものを組織し、微力ながら聊か社會救濟の事業に盡瘁いたして居る者でありましたが、該事業の如きは、前述の趣旨より致して、是非とも先づ各位の御贊助を得べき性質のものであります。私は各位が世界の大大勢

と國內の情勢とに對し、深く考慮を費されんことを切望致すと同時に、又特に私の事業に對して一顧を賜はらんことを懇請致す次第であります。(大正八年一月)

### 平民銀行設立趣意書

凡そ如何なる時代、如何なる邦土と雖も、國家の實力が結局中流以下多數人民の中に存すること疑ひなく、従つて又、彼等の生活の鞏固と健全とが社會平安の源泉たること、極めて踏易きの道理なりとす。然るに今や我國の狀態は如何。上流資産家階級が戰時中に於いて多大なる富力の増進を來したるに反し、中流下層の國民に在つては愈々益々生活困難に陷るの實情あり、假令その一部の者は幾許か戰時好景氣の餘澤に浴したるが如しとするも、物價



の騰貴と奢侈の流行とは、却つて徒らに彼等の生活を動搖せしめたるに過ぎず。況んや戦争終結後に於ける一般經濟界の沈衰は早く既に其の兆候を現はし、社會の不安は蓋し之よりして頗る強烈なるものあらんとす。國家の前途を思ふ者、誰か深憂を禁ずるを得んや。

吾人此に於いて大規模なる平民銀行を設立し、中流下層の社會に於ける完全なる金融機關と爲し、以て此の不安なる社會状態に對する、有力なる一個の救濟事業たらんことを期す。現在我國に於ける此種の金融機關としては、先づ中央に勸業銀行あり、各地方に農工銀行ありと雖も、其の實際の効果を熟察すれば、中流下層民の爲に何等の利益を與へ得る者にあらず。利子七八歩以上の資金が、一割以上の利益を望み得べからざる小農の利用し能はざる

は、固より當然の事に屬す。不動産なき商工業者が不動産擔保を要する資金を利用し得ざるも、亦た固より當然の事に屬す。されば是等諸銀行の巨大なる資金は其の本來の目的に反して徒らに富裕階級の利用する所となり、只勸業債券の割増金が中流以下の人民に對する射倖心挑發の一具となれるに過ぎず。

斯くて中流下層民は無盡講及び質店に依りて其金融を求むるの外なく、然らざれば諸種高利貸の犠牲となりて、益々その生活を危くするに至る。高利貸金の慘毒は今更絮説を要せざるべきが、質店と雖も實は一種の高利貸に外ならず。無盡講に至つては元來相互扶助の性質を有する者なりと雖も、是れ亦た其の實際を考察すれば、意外なる高利貸金たるを免れず。此に於いてか吾人純然たる平民銀行の必要を痛感せざるを得ず。



平民銀行の目的は全く他の諸銀行と異なり、最初より營利を目的とせず、廣く中流下層民の小額出資を求め、殆んど一個の信用組合として只管低利資金の貸出しに勉め、上流富裕階級に利用せらるゝことなく、純然たる相互扶助、共同救済の金融機關たらんとするに在り。若し中流下層民の多數が平民銀行に依りて高利貸の毒手を免れ、有害なる無盡講及び冷酷なる質店との關係を廢絶し、低利なる資金を得て自由に各自の生業に従事するを得ば、彼等一般の生活が安固と健全とを加ふること、洵に多大なるものあるべし。又彼等の中、多少の餘裕を生じ、若しくは多少の節約を爲し得たる者が悉く之を平民銀行に貯蓄するに至らば、他の銀行貯蓄及び郵便貯金の場合と異なり、民間零細の資金が集積して徒らに資本家階級の利用する所となるに反し、其の貯蓄金は再び中流下層

民の間に流通せられ、こゝに又謂ゆる相互扶助、共同救済の實を擧ぐるを得べし。

吾人は平生、中流下層民の救済、階級軋轢の緩和、社會不安の鎮靜を以て志と爲し、曩に社會政策實行團を起し、賛助員としては朝野の名士四百餘名を有し、團員としては中流下層の人民無慮二十萬餘名を有し、着々として相互扶助的なる社會事業を經營し、漸く一個の強大なる共同生活團體たらんとするの情勢を示し居れり。而も是等事業の今後に於ける發展増設の爲には實に多大なる資金を要するものあり。事業としては社會の痛切なる要求に應じて殆んど無限の發展を示すべき性質を有しながら、猶ほ意の如く急速なる發展を見るを得ざるは、偏に資金の供給十分ならざるに依れり。されば平民銀行の設立は即ち亦た是等の事業に對する



資金供給の道を開く所以にして、此の意味よりするも吾人は此際に於いて特に平民銀行の設立を熱望する者なりとす。

吾人が平民銀行の設立を計畫する理由凡そ斯くの如し。然れども中流下層民の小額出資を以て直ちに大規模なる平民銀行を設立し得んことは、固より容易に之を望み得べきに非ず。吾人亦た固より微力應分の出資は敢て辭せざる所なりと雖も、資金の大部は別に之を求むる所なきを得ず。故に吾人は、中流下層の社會に於ける多數なる吾人の同志が、眞に善く相互扶助、共同救済の精神を理解し、奮つて之に出資せられんことを希望すると同時に、又上流富裕の社會に於ける國家社會を念とするの士が、尋常營利の念を離れ、進んで有力なる出資者と爲られんことを懇請せざるを得ず。

若し夫れ事業經營の内容細目に至つては、別に之を詳説して諸君に報するの機會あるべく、今は只、吾人の誠意と熱情との存する所を明かにし以て世上有心の人士に訴ふ。幸ひに清鑑を賜へ。

(大正八年一月)

### 軍人優遇に關する意見書

陸軍大臣陸軍中將田中義一閣下。

閣下は現内閣の國務大臣として軍政の局に當らるゝのみならず、識見高邁にして平生より國民思想善導等の事に留意せらるゝを承知いたすに依り、茲に一書を呈して國家の一大事に關する小生の意見を開陳いたします。

露西亞及び中歐諸國に於いて近時勞兵會なるもの續々として



勃興し、其の勢力の強大にして他國の脅威たること、閣下の熟知せらるゝ所であります。而して此の勞兵會なる者の實質を検すれば、申すまでもなく勞働者と兵士との結合であります。實は勞働者と云ふも産業上に於ける兵士であり、兵士と云ふも國防上に於ける勞働者であります。そこで講和會議及び國際聯盟會議に附隨して、國際勞働會議も開かれてゐる折柄、産業上の兵士たる勞働者に對し種々になる保護の策が講せられると同時に、小生は又、國防上の勞働者たる兵士に對し大いに優遇の道を開くべき事を確信するのであります。

今や講和會議に於いては徵兵制度廢止の問題が起つて居りまして、小生等平和主義者としては大いに賛成する所ではありますが、然し實際上の形勢として、猶ほ何等かの形式及び程度に於ける軍

隊組織は存續される事と考へます。就いては今後の軍隊に於ける兵士の待遇法は實に重要な國家の大問題であらうと考へます。

從來、我邦に於ける徵兵制度の結果は、多數國民に對し實に甚だしき苦痛を與へて居ります。國內に於ける治安維持の任に當る警察官は、其の俸給が甚だ少しとは申せ、兎にかく家族を扶養して居ります。然るに國家防衛の大任務に當る兵士は、全く其の家族を顧みる事を許されて居らぬのみならず、却つて入營中の諸雜費を其の家族から供給されて居るのであります。又彼等は除隊後と雖も、齡四十に達するまで豫後備軍人として諸種の任務を負担し、爲に一身一家の生活に累せられる事が實に多大であります。勿論彼等は悉く忠君愛國の人々でありまして、それらの事實の爲



輕々しく怨嗟の言を放つが如き者ではあるまいと考へますが、然し一身一家の生存を危くされる事が甚だしきに達しますれば、自然に別種の思想感情を抱懐するに至らぬとも限りません。

昔し我國の武士は其の君とする所に對して身命を惜まず、謂ゆる武士道の意氣精神を發揮して居りましたが、それと申すも、畢竟は平生から定祿を賜はつて其の一身一家を安穩に養ひ得たが爲であります。又昔は地方村落に在つて、病氣若しくは事故の爲に或壯丁が農事を廢すれば、近隣の者が相寄つて其の田地を代耕するが如き習慣があつて、それらの爲に農村人情の淳樸を保つて來たのであります。然るに今日では、壯丁が兵に徴せられて一家は爲に生活を危くせられ、國家も近隣も之を放棄して顧みざる實狀であります。之では如何に忠君愛國の素質を有する臣民でも、又

それ對して如何に熱心な忠君愛國の說法を試みても、遂に或は意外な結果を來しはせぬかと氣遣はれるのであります。

そこで若し現役の兵士及び在郷軍人が少しでも不平を抱き、他の不平ある労働者と自然に共鳴して、相提携するが如き機運を作らば、事はありましたなら、それが即ち彼の恐るべも勞兵會の種子となるのであります。元來、兵士は主として労働者の中から取られ、歸郷の後には又主として労働者となるのでありますから、兵士と労働者とは自然に結合すべき因縁を有して居ります。故に若し其間に不平不満の共通感情が存在すれば、其の結合提携は極めて容易であり、極めて急速である筈であります。小生の大なる危惧を感じずる所は實に此に存するのであります。

故に小生は、識見高遇にして常に國民思想の善導に留意せらる



閣下が、此際敢て斷然たる決意を以て、兵士の生活安定の爲に熟慮を費されん事を切望するのであります。前述の如く、今後と雖も何等かの形式及び程度に於いて軍備は必ず存続するでありませうが、世界の趨勢上、其の數量の縮小せらるべきは當然であります。そこで其の變革を好機として、有ゆる點に於いて改善を斷行し、經費の節減すべきは十分に節減し、一面には兵役免除者等に相當の課税を爲して収入を計り、現役兵士の給與、家族の補助、在郷軍人に對する保護及び互助法、其他一切の取扱に於いて出來得る限りの優遇を爲すは、實に國防的勞働者に對する國家當然の任務であります。それが即ち亦た眞に人民を懷くるの仁政王道であらうと考へます。

若し政府の當局者及び社會の有識者にして深く此理を思はず、

猶ほ徒らに空疎なる忠君のみを勧め、實質なき愛國のみを説きまするならば、其の結果は遂に元來忠君愛國なる國民の素質を殘害し、結局、前述の通り歐洲に於ける勞兵會の危險を招致すまいものでもありません。小生は特に閣下の賢明に依頼して敢て此言を爲すのであります。謹んで閣下の清鑑を仰ぐ。(大正八年四月)

社會政策實行團 共同生活會々員諸君に告ぐ

我が共同生活會の會員は主として平民病院(本院及び各分院)、平民食堂、平民法律所、平民俱樂部等に入出せられる一切の人々より成り、目下無慮廿一萬餘名を算して居ります。そして本會が平民の團體として、別紙記載の諸事業を計畫し、且つ着々として其の實行に従事し會員相互の利益と親睦とを計り、眞に共同生活の實



を擧げんとしてゐる事は既に御承知の通りであります。

然し事業に必要なものは第一に資本であります。そこで此資本を作る事に就て、我々は昨秋より本年にかけ、華族及び資本家に向つて大々の運動を試みました。先づ約七百名の華族諸氏に對して賛助員になつて呉れる様にと懇切なる勸誘状を出しました。處が其七百名のうちで賛助員になられたのが僅かに七十九名に過ぎませんでした。更に資本家側では三百通の勸誘状に對して承諾の返事のあつたのが只つた四名でした。其他は返信用として添へました葉書さへも取りつ放しで諸否の回答さへも呉れませんでした。其後更に賛助員會を催しましたが、三百三十二通の案内状に對して、出席の通知のあつたのが廿二名をして當日の出席者が僅に五名と云ふ少數でした。賛助員と稱する人々さ

へもそうであります。殊に甚だしきは、賛助金拂込の請求に對して、自分は賛助員になつた記憶は無いなどと、現に賛助員たる事の承諾をした手紙まで寄越して置き乍ら白々しくも強辯せられる人さへあるのであります。私は實に華族や資本家の我々平民の事業及び生活に對して餘りに無關心で有り、餘りに冷淡で有るのに、大なる反感を起さずには居られませぬ。

資本家は口を開けば輒ち自分の工場(或は商店、銀行)では、其の使用人に對してそれ／＼相當なる保護救済の方法を講じてゐるので、更に他の社會事業の必要を認めぬと云ふのが殆ど紋切形の口上であります。社會が一銀行、一商店、一工場に依つて成立してゐない事は今更申す迄も有りません。私は今更の様に現今の華族や資本家の無智にして且つ我儘勝手なるに呆れてしまひました。



そして華族や資本家によつて社會事業を爲そうとしたのが誤で  
有つた事を泌々悟りました。華族及び資本家は決して我々の味  
方でない。

こゝに於て私は斷然新なる決意を以て我が共同生活會々員諸  
君に檄する次第であります。私は私の味方で有る諸君と密接に  
提携して、お互銘々の力を併せて此事業を遂行させ、以て大に資本  
家に對抗しやうと決心したのであります。それにはどうしても  
我々平民の間に多數の賛助員を得て先づ資本を造らねばなりせ  
ん。そこで諸君も何卒奮發して賛助員の列に加はつて頂きたい  
のであります。

前申す通り本會々員は既に廿一萬餘名を算して居ります。若  
し此廿一萬と云ふ多數の會員が鞏固に團結してお互に助け合つ

てゆくならば、決して華族や資本家にたよらなく共我々平民同志  
で立派にやつて行ける確信が有ります。

假に廿一萬の半數十萬五千の賛助員を得たとしても、一年三圓  
の賛助會費の總額は三十一萬五千圓の巨額に上ります。此の巨  
額の資本<sup>ヲ</sup>を持つて社會事業に著手すれば必らず相互扶助の實が  
擧げられると考へます。何卒本會員諸君は此點に留意覺醒せら  
れん事を切望いたします。

一例を申して見ませうならば、英國に行はれてゐる消費組合も  
只今こそは非常な大規模の者で、生活上一切の必需品は悉くそこ  
で供給すると云ふほどであります。此組合も最初は僅か八名の  
労働者が寄合つて、一人僅か三シルリング宛を醸出して始た者で  
あります。そして只今では一ケ年の純益が一億五千萬圓に上る



と云ふ盛況で有ります。其外ブラッセルやベルリンにある大規模の平民館などは、皆な純粹な平民の手に依つて作られた純粹の平民俱樂部であり、平民組合であります。何事によらず多數協同の力の偉大な事が此の一二の例に依つても善く分るのであります。

一ヶ年參圓の贊助金と云ふと一寸大きい様ですが、月に割ると僅かに廿五錢であります。勿論廿五錢と雖も、此の物價騰貴の際此の生活困難の際、毎月々々支出して行くのは可なり苦痛な事であり、然し其廿五錢が積つて一年參圓となり、其一人參圓宛が積つて三十餘萬圓となり、それが原動力となつて我が共同生活會の事業が見る／＼大發展を遂げ、目下廿一萬の會員が更に四十萬となり八十萬となり、遂に中流下層に於ける我が平民階級の大

部分を包容する、有力なる一大團體となり、それに依つてお互が有ゆる生活上の便宜を受け、又社會に對する諸種の關係に於いて一大勢力を得るとしますならば、随分苦痛を忍ぶだけの値打はあると考へます。

以上の趣旨に依り、甚だ無様ながら私は茲に改めて我が會員諸君中に賛助員を求めらるのであります。何卒諸君の御發奮を願ひます。(大正八年六月)

社會政策實行團 共同生活會の檄

兼て御承知の共同生活會(元社會政策實行團)の件につき、此際特に諸君の御一考を煩はしたき儀之あり、謹んで此一書を呈します。本會の事業が着々として發展の氣運に向ひ、多數なる中流薄給



者の熱烈に歓迎する所となり、又國家社會を憂ふる識者有志の  
いに囑望する所となり、今後益々盛んに其の發展の歩みを進むべ  
き情勢を呈し居れる事は、諸君の既に御承知下さる通りでありま  
す。然るに全世界に於ける政治經濟上の急激なる變化と、及び必  
然的に之れに隨伴する國內社會上の大變化とは、本會の事業をし  
て愈々切迫せる大擴張の必要を痛感せしむるものがありました、  
それが爲には是非とも相當に豊富なる資力の準備が必要となる  
のであります。

此に於いて我々當事者は、曩に現内閣總理大臣原敬氏に對し、又  
宮内大臣波多野敬直氏に對し、社會政策に關する意見を續陳した  
る一文を捧げ本會の趣旨に諒解を賜はらん事を冀ひ、更に又各大  
臣、次官、警視總監及び其他局長級の人々に對しても一書を呈して

本會の趣旨を陳じ、其擴張發展の必要を訴へ國家社會の爲めに奮  
つて一舉手一投足の援助を與へられん事を懇請したのでありま  
す。然るに其結果はどうでしたらふ。繼かに宮内大臣が小生の  
往訪を快く迎へて具さに本會の趣旨事業の成績等を聴取せられた  
のと、内務大臣床次竹二郎氏、陸軍大臣田中義一氏、中西滿鐵副總裁、  
横田法制局長官、古賀拓植局總裁の諸氏が速かに快諾を與へて本  
會賛助員となられたるの他は、諾否の回答すらも與ふるを吝み、或  
は書留郵便、或は配達證明郵便に依り、前後三回の督促を爲すに及  
んで、初めて澁々乍ら回答を送られた三四の向は何れも不承諾と  
の事でありました。平民大臣中一二の者も亦今日に到る迄遂に  
何等の回答を與へられないであります。

我等は其後更に華族と實業界の有力者に對して前同様勸誘を



試みました。而して其結果はと云ふと、華族界の方は六百八十名の中僅かに七十九名の賛助を得、實業界界の方では約三百通の勸誘状に對して僅かに二三名の賛助を得たに過ぎませぬ。大部分は返信用の葉書を取りつ放して諸否の回答さへも送られませんでした。實に驚き且つ呆れざるを得ません。がソレよりも尙ほ驚きましたのは、其後更に今一應、財界諸紳士に檄し、一たび其の來會を求めて本會の性質と我々の心事とを告げんと欲し、時を期して其の會合を待つたのでありますが、其の結果は更に驚き呆れざるを得ざるものでありました。即ち三百三十二通の案内状に對し出席の旨を返事せられたる者僅かに二十二名、而も當日實際に出席せられたるは只の五人でありました。

我々は全く爲政者や上流富貴の紳士が斯く迄社會的事業に冷

淡に財閥資本家の人々が斯く迄無神經であらふとは實に意外千萬でありました。殊に又既に一度び本會賛助員たる事を諾せられた紳士の中にも、僅か一ヶ年三圓の賛助金を吝んで、仕拂を拒絶したり、甚だしきは賛助員になつた覚えは無い杯と強辯せらるゝ向さへもあります。此處に到つて我々は全く上流紳士に對して愛憎が盡きました。眞に絶望の他はありませぬ、只、それでも華族諸氏の中には、百名に近き賛助員を得たのが責めてもの事でありまして、さすがに幾分か其の特殊なる榮譽の地位に對する責任の自覺があるものと認められますが、富豪資本家の側に在つては、國家を思ひ、社會を憂ひ、人民を念とするの誠意が全然缺乏してゐるものと斷定するの外は無いのであります。然しながら我々は此の大なる絶望の中に猶ほ僅かに一縷の望みを保ち、今一度改めて



此の書を以て諸君に訴ふるのであります。そして此の一縷の望みは、決して單に本會事業の成否如何と云ふが如き些々たる問題でなく、實に我が國家社會が此の世界大變轉の危機に際して、能く平和なる革新を遂げ得るや否やに對する、僅かに一縷の望みである事を確信するのであります。

是まで我々が財界諸紳士に面接したる實驗に依れば、諸氏の意向は大抵銘々に自己の工場、店舗等に於いて其の使用人に對し、それ〴〵相當なる保護救済の方法を講じてゐるので、更に他の一般的社會事業に向つて其手を延ばすの必要を認めぬと云ふに在ると見受けま<sup>す</sup>。前記會合の節、幸ひに三菱系の某氏が出席されたので、我々は其の席上に於いて、特に某氏に告げた事ではありますが、右財界諸紳士の言分は實に根底から間違つて居ります。若し諸

君の爲さるゝ事が、單に諸君の道徳的感情を醫する慈善事業、或は單に世間體を繕ふ救済事業、或は一時諸君の使用人を引止める區々たる温情政策であるならば、それは諸君の言はれる通りであります。然し社會は一個の龐大なる組織體であります。諸君の工場、店舗、會社、銀行等が、個々獨立に存在してゐるものではありません。一部分を暖めても全體の凍結を拒ぐ事は出来ません。一部分を拭つても全體の汚濁を清める事は出来ません。

一例を擧げて見ませうか。宮内省の御用邸と申せば、日光も十分、空氣も新鮮、清潔と善美を極めたものであります。が、それでも往年尊い御方が或る傳染病に犯され給ひしなど誠に畏れ多い事實があります。それは何故かと云ふに、葉山でも、鎌倉でも、須磨でも、皆な天然の地形としては結構な所ではありますが、其の近處に澤山



の貧乏人が住んでゐるので、自然に其の貧乏人の病毒が御用邸の中までも侵入するのであります。塀が如何に高くとも、門が如何に嚴めしくても、病氣は空氣や水や蠅や蚊や、其他種々の物に依つて何處までも侵入します。又、お出入の商人にせよ、大工にせよ、植木屋にせよ、皆な貧乏な労働者で、巡査と雖も窮民の一種でありますから、それらとの交渉がある以上、其の經路から來る病毒の侵入を拒ぐ事はどうしても出來ないのであります。

猶一つの例を擧げて見ます。有名な獨逸のクルツプ會社は何萬人といふ職工労働者を使用して、而も其の待遇が至れり盡せりで、眞に世界第一の模範工場を以て目せられて居たのであります。獨逸の労働者中には多數の社會主義者がありましたが、クルツプ工場内に於いては、設備待遇の完全なる結果、一人の社會主義者も

無いと云ふのが、彼等の大なる誇りとする所でありました。然るにどうでせう、今度革命が起つて見ると、それほど立派な、それほど完全なクルツプ會社も、カイゼルと同一の運命に陥つたではありませんか。そこで要するに、一部分の改善のみでは駄目であります。一部分の防衛のみでは無効であります。自分の工場店舗に相當の方法が講じてあるから他の一般の社會事業に手を延す必要がないなど、云ふ事の、如何に根底から間違つてゐるかは、此の一二の實例に依つても十分明瞭になつた事と信じます。

以上申す通りの次第で、我々は絶望の中に猶ほ一縷の望みを繋ぎ、而も其望みは單に本會事業の成否如何と云ふが如き些々たる問題でなく、實に我が國家社會が能く平和なる革新を遂げ得るや否やに對する大なる望みでありまして、それが爲に敢て此書を諸



君に呈し諸君の御熟慮を煩はすのであります。

然し我々は乞食の如き世の慈善業者の態を學ぶ者ではありません。我々は強いて諸君に縋つて些少の金錢を求むる者ではありません。只若し諸君に於かれて、世界の氣勢上、國內の形勢上、本會の事業の如き者をして大いに擴張發展せしめる事が、之を小にしては諸君の地位を安全にする所以であり、之を大にしては國家社會の健全なる發達を遂げしめる所以である事を悟られ、進んで本會の爲に其の資金を給せられるならば、我々は深く其の達識に感激して最も有益に之を使用するの道を講ずるであります。

若し又諸君が遂に此理を悟られず、我々の言に耳を傾くる事を厭はるゝならば、我々は何時まで諸君に向つて勸説の勞を費すものではありません。我々は眞に全く諸君に絶望し、そして我々の

獨力を以て本會の事業を進めるの外はありません。我々の獨力は固より微々たるものであります。然しながら我々の提携し協力する貧民の頭數は實に多大であります。此の多大なる頭數の貧民を團結して、以て歩を進める時、本會の力は必ずしも劣弱なる者ではないのであります。

感慨の溢るゝに任せて圖らず長文になりました。最後に繰返して申します。我々の僅かに繋げる一縷の望みに對して、切に諸君の靜思熟慮を祈ります。(大正八年六月)

### 賛助員諸君に訴ふ

本會の事業が時勢の進運に伴ひ着々として効果を奏して居る事は諸君の疾くに御看取下された所と信じます。



平民病院の廉價診療が薄給生活者たる會員百萬餘人の爲め常に多大の便益を興へ居る事は今更申すまでもなく、平民食堂が種々の點に於いて其の成功を危ぶまれしに拘はらず、今や日々一千餘人の來食者を有し、如何に切實なる社會の要求に適應し居れるかを示してゐるのは、亦た多言するの必要がありません。然るに今回は又、米價暴騰に對する一個の根本的救濟策として、頗る大規模なる廉價パンの製造を計畫いたし居り、其の新奇有益の點に於いて大に社會の注目を引いて居る次第であります。

右の外、本會の行ふべき事業は、兼て御承知を願ひ居る通り、質店にせよ、浴場にせよ、住宅にせよ、日用品販賣所にせよ、托兒所にせよ、宿泊所にせよ、いづれも皆焦眉の急に迫れる事項でありまして、本會幹部に於いては一日も早く其の計畫實施に着手したいのであ

りますが、之れに對する唯一の障礙は只資金の不足であります。本會の資金は、從來單に諸君の贊助金及び臨時の義捐金に依つたのであります。が、事業擴張の爲には是非とも相當に纏まりたる資金を要しますので、過般來、有力なる貴族富豪諸氏に勧誘いたし、既に賛同を得た分も少なくはありません。殊に最近、岩崎家より金五萬圓の寄附を受け、又和田豊治氏より金貳千圓の寄附を受けて居ります。就ては此際、更に他の有力者に對し續々寄附若しくは出資の勧誘をする手筈に致して居ります。

然るに、斯様にして寄附若しくは出資の勧誘を致すに就いては、先づ本會の内部を堅める必要があります。本會の内部に於いて相當の資金を集め、それを基礎として他に勧誘をすれば、其の効果も亦た著しいであらうと考へます。現に本會の贊助員が約五百



名ありますが、此の五百名の諸君が五十圓より一萬圓以上位の範圍に於いて、奮つて御出資下さるならば、拾萬圓位の基本金は譯なく出来る筈であります。若し拾萬圓位の基本金がチャンと出来て、内部は既に此通りであるから是非之に對して援助を願ふと申せば、必ず其の勧誘に應ずる有力者が續出する事と信じて居ります。勿論、諸君に對して斯様な事を強めてお願には參らぬのであります。勿論、此の有益有望な社會事業を十分に發展させる事は、云ふまでもなく諸君の熱望せられる所でありますから、率直に申し上げますのであります。

若し幸に諸君の御賛同を得て此事が成立ちますれば、加藤時次郎一個と致しては、毎度明言致した通り、平民病院の一切を舉げて本會に投じ、諸君の御出資と、他の寄附若くは出資とを合して、茲に

一大共同生活組合を作る事も出来るかと考へます。何しろ今日財界情勢上、稍大規模な事業を經營するには、少くとも百萬圓位の資力が必要であります。右の方法に依り、先づ本會内部に拾萬圓位の中心財力を作り、それを基礎として大いに他の有力者に勧誘すれば、我々の手中に百萬圓の財力を握る事は決して難事であるまいと考へます。

本會事業の成績が既に社會に認識せられ、前記の如き有力者の寄附もある折柄、此の機會に於いて是非とも本會の實力を作り、大に各方面の事業を起したいといふのが、我々の熱望する所であります。何卒御熟考の上、御賛同を願ひます。(大正八年八月)

### 賛助員勧誘の文



謹啓 小生は社會政策實行團幹事として、有力なる資本家階級の代表的一員たる、貴下に對し、切に御熟慮を願ひ、従つて又當團の事業に御贊助を仰がんに爲、茲に一書を裁して貴下の左右に呈します。御繁用中、恐縮ではありますが、是非々々御一讀を願ひたいのであります。

今や世界戦争は漸く終結して重大なる講和會議の進行を見て居りますが、併しながら露獨其他に於ける革命的動亂は猶ほ全く鎮靜するに至らず、西部歐洲の戰捷諸國と雖も、其の内部に於いては困難なる社會問題が續出して、容易に解決の方策を得る能はざる實情を示して居ります。従つて講和會議に於いても、特に國際的勞働保護の條目を宣言し、近々別に國際勞働會議を開いて資本勞働の節調に努力する筈であります。

斯くの如き世界的形勢は勿論亦た國內の人心に影響を及ぼさずして止むものではありません。現に今期の帝國議會に於いても、勞働問題に關する幾多の質問が提出せられ、民間の言論機關に於いても、勞働者保護の必要、勞働組合設立の必要等が盛んに唱道せられ、更に一般社會政策の急要に就いては、萬口一齊に之を高調力説し、政府の當局者も朝野の有識者も皆な其の實行實現について苦慮焦思を費してゐる有様であります。殊に最近に於いて普通選舉要求の運動が頓に猛烈の氣勢を示し、必ずや近き將來に其目的を達せずんば止まざるの狀を呈せるが如き、社會の實質的權力階級に對する民衆の不平と要求とが、只だ此普通選舉の一面を焦點として、如何に急速に其の迫襲の歩を進めつゝあるかを示すものと考へます。



然らば此の世界の大勢に順應し、國內の情勢を善導し、無益なる軋轢を避け、慘憺たる鬭争を免れ、悠々たる平和の裡に上下相融睦して、能く國家社會の進運を確保せんと欲せば、先見達識ある資本家階級中の有力者が、自ら率先して社會政策的の諸事業に盡瘁し、其の顯著なる模範に依つて一般資本家階級を警醒し、久しく私利私益にのみ没頭して曾て國家社會を念とせざりし彼等の多數を、漸く遂に相率ゐて社會問題の解決に助力せしむるが、蓋し最も効力なる方策であらう考へます。

小生等の設立せる社會政策實行團は、別紙趣意書の示す通り、中流以下に於ける多數の民衆の生活を擁護せんとする經濟團體であります。階級軋轢の緩和、資本労働の調和は即ち其の主要なる目的であります。従つて今や廣く世上の歓迎を博し、團員數は無

慮二百萬人を算し、賛助員は別紙記載の通り、朝野の名士、華族、富豪、等約五百名を網羅し、又曩に政府及び宮内省に對して熱誠の意見を呈したる結果、波多野宮相の如きも非常なる賛意を表せられ、又床次内相、田中陸相の如きも直ちに加入を諾せられたる次第であります。

就いては貴下の如き有力有識の士が本團に賛助を賜はるは、實に本團が深く之を光榮とするのみならず、小にしては一般資本家階級の爲、大にしては國家社會全體の爲、洵に慶賀すべき所であります。願はくば内外の情勢を熟慮せられ、又小生等の微衷を諒察せられ、速かに賛助員として本團に御加入あらんことを、切望懇囑の至りに堪へませぬ。(大正八年九月)



## 某富豪に與へて其熟慮を決斷を

### 切望す

啓上、先日拜顔の節、小生の意中大略申述べおき候へども、猶ほ盡さるる所あるを覺え候間、更に本書を以て赤裸々の心事開陳いたし候、御多忙中恐縮ながら是非々々御精讀の上、御熟考のほど懇願いたし候。

小生が多年社會問題及び勞働問題に關して、研究し、運動し、努力し、畫策し來れる事實は今更申上ぐるまでもなく、貴下の十分に御看取下されたる所と存じ候、さればこそ先達て小生が社會政策實行團を創立せし際にも、貴下は最初の賛成者として直に聲援を與へられたる次第に有之、又近頃に至り共同生活會が、某富豪より巨

額なる事業資金の寄贈を受けたるも、全く貴下の深厚なる御同情と徹底せる御理解の結果と感佩いたし居り候、斯くて小生は不肖ながら貴下に對し、知己相許すの感を有し、相携へて國家社會の大事を成就せんことを期する者に候、小生が貴下を會長に仰ぎ、其下に於いて空前の活動を試みんことを提言いたしたるの趣旨は、即ち實に此の知己の感銘と遠大の抱負とに基づくものに有之候。

戰時中より戦後にかけて頓に急激の變調を呈し來れる世界の形勢は、達眼なる貴下の疾くに留意せらるゝ所なるべく、殊に最近の御外遊に於いて必ずや幾多發明せらるゝ所ありたるべくと存じ候、謂ゆるデモクラシーの叫びは必ずしも新らしき者には之なく候へども、現今の社會的標語たるデモクラシーは昔日の資本家的デモクラシーと全然その意義内容を異にし、純乎たる勞働階級



のデモクラシーとして、社會經濟組織の根本的變革を要求する者に有之、露西亞、獨逸等の事は姑く之を別問題と致すも、英米兩國の勞働階級が其の直接行動を以て政府と資本家階級とに肉薄し、今や殆んど之を防遏するの道なからんとするの情勢は、日々刻々の電報に依りて我等の耳目を驚かし居るに候はずや、貴下は我國資本家階級中の先覺者として、殊に最大富豪某家の長老重鎮として、此の世界の急潮に對し果して如何なる方策と覺悟とを有し居られ候や。

小生の見る所に依れば、姑息なる慈善事業、僞善なる温情主義、曖昧なる妥協運動等は、此の奔騰せる急潮の前に於いて全然無力の者に有之候、若し我國の資本家階級にして、殊に其中の有力なる大富豪にして、眞に國家を救ひ國民を安んじ、併せて自己の悲惨なる

覆滅を免れんと欲せば、此際非常の覺悟と決心とを以て大膽明快なる徹底的方策を樹立するの外之なくと存じ候。

然らば其の徹底的方策とは何ぞや、曰く、大富豪大資本家が自ら進んで此の勞働的デモクラシーの急潮を善導し誘掖するに在り、若し凡庸資本家輩をして之を言はしめば、斯くの如きは只だ敵軍を助けて自己の滅亡を早むるのみと申すべく候へども、左様なる俗論俗見に超越して能く高邁雄大なる畫策を回らすもの、即ち國を救ひ、世を救ひ、民を救ひ、併せて亦た自ら救ふ英雄の偉業たるべしと存じ候、徳川氏の一門たる水戸藩が率先して勤王を唱へ、次で將軍慶喜が早きに及んで大政を奉還したるが如き、之を俗眼より見れば皆な自ら亡ぼすの所業たりしならんも、今日よりして之を回顧すれば、眞に高邁雄大なる偉業として、能く世を救ふと共に亦



能く自ら救ふ所以たりしは、明々白々の事に候。

故に、貴下にして若し此の國家を危機より救ひ、同時に某家の名聲徳望を長久にするの大野心を有せらるゝならば、此際速かに自ら進んで一般無産者に共鳴し、其の運動を擁護しつゝ、平和の裡に第二維新を成就せしむるの大方策を樹立せらるゝこと、焦眉の急務と存じ候、貴下の眼中には、或は政黨の力、警察の力、軍隊の力など、現在制度の擁護として有力に映じ居るやも存せず候へども、普通選舉の實施がノツピキならず眼前に迫り居る今日、舊政黨の勢力は殆んど風前の燈火に過ぎず、又貧民の子弟を驅り集めたる兵士、及び既に一種の労働者たるを自覺せる巡查等が、一朝大事ある時、果して能く資本家擁護の任務を果すべきや、誠に覺束なき事に候。此に於いてか、識見あり誠意あり抱負あり理想ある大富豪の取

るべき道は、只だ無産者の團體及び其の運動を援助し、之を善導し誘掖して正規の發達を遂げしむるに在り、是れ即ち富豪資本家が死中に活を求むべき唯一の方策に有之、同時に又國家民人を救ふの榮譽と効果とを收むべき唯一の方策に有之、貴下の賢明にして此理を見徹せられざる筈なしと存じ候、國家の爲、資本家の爲、貴下が斷じて此の決意を定められんこと小生の切望に堪へざる所に有之候。

小生の率ゐる團體が既に百萬人に近き會員を有し、着々として諸種の方面に實際的事業を起し、隱然たる一大勢力を以て社會の中流下層に蟠踞いたし居る事は、貴下御承知の通りに有之、只今後の問題は、貴下が此の有力なる大團體を自己の勢力下に置いて、之を善導し、之を誘掖し、以て社會動亂の危機を防止するの用に供す



るか、或は之を敵手に委し、其の跳梁跋扈に放任して、國家と資本家と皆之が爲に苦惱せんとするかに有之候、若し貴下にして、小生が貴下に對して信頼の念を抱くが如く、亦た小生に對して相當の信頼を與へらるゝならば、願はくば貴下自ら我が團體の會長となり、小生をして貴下の下に此の有力なる團體を率ゐて全力を發揮せしめよ、小生老いたりと雖も此の頑健の體軀を以て猶ほ十年の大活動を繼續し得る事を確信いたし候。

小生の父は維新の際に於ける勤王の和學者に有之、從つて小生は遺傳的に、及び教養的に、深く國家民人を念とするの精神を存し又醫師たるの職業上、常に多數民衆に接近したるの結果、一面には勞働階級を救ふを以て自己の任務と爲すと同時に、亦た一面には識見ある富豪資本家を助けて相共に國家を救ふの義氣俠骨を有

する事を誇りとする者に候、貴下の從來の知己に感激し此の大膽の提言を致す以上、小生は貴下を外にして此上他の富豪資本家に依頼し勸説するの意志寸毫も無之、若し貴下の採擇を得ずんば小生は只だ多數の無産者と共に相率ゐて其の行くべき道に行くのみに候。

但し區々たる小規模の畫策は殆んど無益に候、世上の富豪が從來幾多の謂ゆる公益事業に資金を義捐しながら、幾許も其の効果の見るべきものなきを回顧せられなば、其の點は貴下も亦た、直ちに首肯せらるべくと存じ候、只貴下が自ら陣頭に進まれ大資を擁して小生に全力を發揮せしめ、現在百萬人の團體をして更に數倍の大團體たらしめ、以て健全なる社會革新の大動力たらしむるに於いて、初めて所期の効果あるべくと存じ候。



今や世界的急潮の赴く所、眞に旦にして夕を計るべからず、一日後るれば一日の損あり、我國幸ひにして動亂未だ甚しきに至らず、只此際こそ最も恐るべく而も最も大切なる時と存じ候、貴下希くば徹底の熟慮と急速の決断とを與へられよ、熱情の迸るところ言或は矯激に流れ、非禮に失するなきを保せず候へども、貴下平生の寛仁必ず之を宥恕せらるべきを信じ、蕪辭のまゝ敢て座右に呈し候。頓首。(大正八年十一月)

### 資本家に對する小生の斷乎たる

#### 決意

本會の事業が着々として成功の域に向ひ、世界の**大勢**と國內の**狀況**とに應じて、堅實なる社會救済の効果を奏しつゝある事は、諸

君の十分に看取せらるゝ所と信じます。然しながら本會が更に其の規模を増大し、更に其の事業を擴張し、眞に能く新社會建設の大動力たらんが爲には、猶ほ實力の不足を感せざるを得ないのであります。

此に於いて我々は世の心ある富豪貴族に向つて大いに勸説を試みました。我々の事業は固より中流下層の多數國民間に於ける自助的事業であり、相互扶助的事業であります。然しながら多數國民の問題は即ち全社會の問題であり、従つて又國家問題でありますから、富豪貴族の人々と雖も、苟くも世を憂ひ國を思ふの心がある以上、我々の自助的事業、相互扶助的事業に對し、之に力を借して相共に國家社會を救ふの至誠と情義と識見と覺悟とがあるべき筈であります。我々は勿論、私利私福の外に何等奉公の念の



ない様な富豪や貴族を眼中に置く者ではない。そういふ徒輩に對しては、最初から敵對の態度を取つて大いに戦ふ決心でありました。が、さりとて我々は徒らに階級の反目を激成して一時の快感を貪るが如き淺薄輕佻の考を持つ者ではないから、前に云ふ「心ある富豪貴族の人々に對しては、十分なる理解の下に其の援助を求め、相共に國家社會を救ふの道を立てやうと考へたのであります。そして又、彼等も必ず我々の誠意と熱情とに對し有力の援助を吝まぬであらうと信じたのであります。

然るに我々の推測は全く誤つて居りました。尤も、富豪貴族の中、諸種の點に於いて助けて呉れた者が無いではありません。多少の金員を寄贈して呉れた者も無いではありません。少數なる某々諸氏に對しては、深く感謝すべき理由を有して居ります。然

しながら之を大體の上から見て、本會はそれらの援助と同情とに依り、幾許の實質的效果をも收めて居りません。本會の理由と目的とは高遠であり雄大であります。些々たる金員の援助の如きは、殆んど問題とするに足りません。そこで我々は可なり大規模の計畫を以て、特に有力なる富豪數氏に謀る所がありました。それら諸氏は何れも頗ぶる賛成の意を表し、中には自から進んで本會經營の任に當られるかの如く見えた者もありました。然るに愈々實際の交渉に入ると、其の誠意も情義も識見も覺悟も、殆んど總てお話にならぬ事を發見しました。我々は遂に全く絶望しました。一般の富豪貴族が一顧に値しないと同時に、謂ゆる「心ある」富豪貴族の徒と雖も、亦た同じく相共に國家社會を語るに足らぬことを明白に確認しました。



事此に至る以上、本會は最早や斷然として資本家階級と一切の因縁關係を絶つの外はありません。そして現社會の最も有力なる有識無産階級を以て其の本據と爲し、國家の大多數を組成する勞働階級を以て其の背後の實力と爲し、飽くまで本來の趣旨に従つて、自助の精神と相互扶助の意氣とを發揮し、堅實強盛なる經濟的大團體として、現社會革新の爲、及び新社會建設の爲、大膽なる活動を開始するの外はありません。我々は、大正九年の年頭に際し、此の新らしき決意を諸君に告げんが爲に、敢て此の一文を草した次第であります。乞し我々は從來屢々聲明した通り、直ちに政治的運動に干與する者ではありません。普通選舉が實施されて、平民階級が政權參與の實質を有する曉に於いては、我々も亦た當然に政治的運動を起すでありませうが、今日の情勢の下に於いては、

我々は純然たる生活團體として經濟的に活動するのが、最も有効であり有利であり有益であると考へます。

右の通り、我々は一面には自助、一面には相互扶助を以て根本の意氣精神と爲し、一切他の援助に依頼せぬ新覺悟を定めたのでありますから、今後は從來の賛助員諸君に對しても、強ひて賛助金の御請求も致さず、其代り誠意の認められぬ人々に對しては、遠慮なく賛助員の名籍を削除します。又我々が斯様な態度を取つたのに對して、從來の寄附者諸君の中、若し不満を感せられる人々があるならば、御請求に依り該寄附金を御返戻いたしても宜しい。今回こそは、我々も可なり堅固な決意をしたのでありますから、其邊は篤と御承知に預りたい。

然しながら我々は前にも申す通り、少數なる篤志家、若しくは義



俠家に對しては深く感謝すべき理由を有して居ります。今後と雖も、若し眞に善く本會の事業を理解し、相共に國家社會の危急を救済するの大志を以て、我々に援助し同情せられる有力者があるならば、我々は喜んで其力を借らうとする者であります。只我々は世の謂ゆる「心ある」人士の微温と不徹底に絶望して、多數なる中流下層の人民の實力以外、（及び眞に善くそれを助け導く識者の力以外）、此の國家社會を救ふに足らぬ事を確信するのであります。（大正九年一月）

### 改正社會政策實行團趣旨

本團は貧富の懸隔を調節し、階級の軋轢を緩和し、社會の動搖、人心の不安を防止し、我が國家の改造と發達との爲に堅實なる基礎

を築くの目的を以て、中流以下に於ける多數國民を糾合し、實際生活の上に相互扶助を行はうとする經濟團體である。

本團が現に久しく實行しつゝある社會政策の項目を列挙すれば

平民病院。 平民藥局。 平民法律所。 平民食堂。 平民パン製造  
販賣所。 平民寄宿舎

等であるが、猶ほ今後に於いて着々實行すべき事業、若しくは目下既に着手の準備中にある事業を列挙すれば、凡そ左の如き者である。

平民質店。 平民銀行。 職業紹介所。 低廉寄宿所。 低廉浴場。  
低廉理髮所。 低廉葬儀所。 低廉助産所。 獨身者寄宿所。 兒童  
預り所。 改良貸長屋。 簡易圖書館。 簡易娛樂場。 病災保險。



## 生命保険

本團の創立は大正六年で、右既設の諸事業に關係ある人々の中より團員を募り、目下は團員總數約一百萬人に達し、今後更に何程の増加を見るべきか殆んど測り知るべからざる勢ひを示してゐる。

本團は前記の目的を有するが故に、最初より上流階級と下層階級、資本家と労働者、富豪と貧民、及び其の中間に位する識者有志を結合して、國家全體の親和協力を實現する抱負で、社會の各方面各階級の間に賛助員を募り、殊に富豪貴族中の心ある人々に對しては特別の援助を勸告した事もあるが、極めて少數なる篤志者の外は我々の誠意と大志とを理解する事が出來ず、多少の援助を與へ呉れたる者も、實質上には殆んど用を爲すに足らざるの有様であ

る。

此に於いて我々は、最早や貴族、富豪若しくは資本家などの到底頼むに足らざる事を看破し、特に我々に對して理解あり同情ある少數例外者を除いては、斷然彼等と絶縁する事を決意し、同時に團員中の有志に依つて獨立の旗幟を翻し、最も堅實なる相互扶助的及び自動的精神を發揮し、謂ゆる有識無産階級を中堅として、純然たる平民的大經濟團體を確立するの覺悟を定めた。

本團の團員は云ふまでもなく無産者である、薄給者である、貧困者である、然しながら一百万といふ團員數は實に多大であり、有力である。此の有力なる多數を以て、今後一層鞏固な結合をするに於いては、其の發展は蓋し期すべき者があるであらう。彼の英國に於ける、一ヶ年純益一億五千萬圓に上るといふ大消費組合でも、



其初は僅かに八名の労働者が僅かに三シリング宛を醸出して設立した者である。其他ブリュッセルやベルリンにある大規模の平民館なども、皆な多数平民の手に依つて作られた純粹の平民組合である。多数協同の力の偉大な事は此の一二の實例に依つても明瞭である。

故に我々は茲に改めて我が團員中に於ける有志の奮起を懇請する。どうか此の國家的社會的の大事業の爲に、進んで本團の賛助員になつて戴きたい。賛助員は一ヶ年金三圓を醸出する規定で、三圓と云へばチョット大きな負擔の様であるが、それを月に割ると僅かに廿五錢である。尤も、此の物價騰貴、生活困難の折柄、廿五錢と雖も毎月々々支出して行くのは可なりの苦痛に相違ない。然し其の廿五錢宛が積もり積もつて一ヶ年三圓となり、其の三圓

宛が更に多数の頭から積もり積もつて三千圓となり、三萬圓となり、三十萬圓となり、若し百萬人が打揃つて醸出するとなれば實に一年三百萬といふ巨額に達し、それが原動力となつて本團の事業が大發展を遂げ、能く國家社會を救ふの大功を立てるに足る事を思へば、随分苦痛を忍ぶだけの値打はある。

そこでどうか諸君、殊に有識無産階級及び労働階級中の義氣あり、俠骨ある諸君、斯ういふ意味に於いて、斯ういふ希望を以て續々本團の團員となり、賛助員となり、相共に協力して、自ら救ひ且つ世を救ふの志しを立てられんことを切望いたします。

猶ほ本團に關する諸般の報告等は雑誌「民平」に於いて發表いたしますから、詳細は同誌に依つて御承知を願ひます。(大正九年三月)



## 會費制度を爲すに就いて

社會政策實行團は慈善團體では無い。本團の事業は無産有産階級及び勞働階級に向つて、低廉安價に其の利便を享受せしむる一種の購買組合である。普通の購買組合は、組合員が五圓なり拾圓なりの出資をして、其の組合の利便を受け、半期若しくは一期に、其の事業より生じた利益の配當を得ることになつて居る。然るに社會政策實行團の事業は、従業員は利益があれば其の配當を受け、けるけれども、團員となつた者には夫れが無い。併し入團に際して十錢を收め、そして安價に醫藥を投せられ、若しくは食事を供給せられ、其の他種々の便宜を受け、其の上配當を受けやうとす者あれば、并は餘りに蟲がよいといはなければならぬ。

けれども、予の本願は此の拾錢即ち入團金が積り積つて、幾萬幾十萬とも成らば、社會政策實行團より生ずる利益を、従業員及び團員に配當するやうにしたいと思つて居る。即ち社會政策實行團は、團員といふ一般株主と、従業員といふ特別團員とから成る、純然たる購買組合にするつもりである。であるから予は本團創始以來の入團金を、一文も費消しないで蓄積してある。そして其の額は漸く三千圓ばかりに達した。之れを幾十萬にするには、尙ほ前途遼遠といはなければならぬ。

一般團員から拾錢の入團金を徴集して居つては、本團を團員のものとし、其の利益を配當するには長年月を要する。そこで予は資本家の寄附を求めた。所が何れも我慾のみ強くて、社會政策の何たるかを解せぬ者ばかりであるから、遂に愛憎をつかし之れと



絶縁した。そして今度は一般團員に向つて毎年三圓の出資をする賛助團員たらんことを勧誘し、之れに依つて資金を得んとしたのである。所が之も餘り好結果は得られ無かつたが、併し之れは今後とも氣永に勧誘して、一方の財源とする方針である。勿論賛助團員も將來團員として利益配當を受けるのは當然である。

次に普通團員は今日の所入團者は金十錢を納入すれば、五年でも、十年でも、否な本團の存続する限りは、其の特權を持つて居るのであるが、僅かに拾錢を以つて、かく永久に本團の特權を有するは、其の利益に對して義務の負擔が餘りに輕少である。そればかりでは無く、團員が本團にて施設する諸事業の利便を知れば知る程、本團の存在が永くなればなるほど、團員ばかりに成つて、今後或は新加入者が無くなるかも知れぬ。そして固定した團員と従業

員とで、本團の諸事業を運行することになるに決まつて居る。

元より本團の組織は、團員だけに其の利便を享受せしめるのが、趣旨であり目的であるけれども、それでは本團を團員の物とすることは永久に望まれ無い。そこで本團を團員の所有にする爲めにも、本團の利便に對する義務としても、團員諸君は月々拾錢づゝの會費を負擔することは、決して重過ぎはしまいと思はれる。そこで來る八月一日より之れを實行するにしたのである。

其の徴收方法は、最初十錢を徴收して團員章を交附する。そして其の團員章に發行日を記入し、其の發行日より三十日間は無効ならしめる。そして其の發行日より三十日を過ぐれば、又拾錢を徴收して別に團員章を發行交附すれば、至極簡便に行くであらう。一度來て一週間で來なくなり、又來月來ればそして其の日附が三



十日以内ならば、拾錢を徴收せず、三十日を経過して居れば之れを徴收することにするのである。みのる會の如きは、今後此の團員章を持參せざれば、毎回必ず拾錢づゝを徴收し、之れを團員費として積んで置く。

元より之れに依つて一時に多額の資金を得られやうとは思は無いが、併し有力なる財源たることは争はれぬ。其の概算を舉げて見ると、病院だけでも本院と三分院とを合すれば、毎月會費を徴收し得るもの一萬千百人、十二ヶ月には十三萬三千二百人となり、一ヶ月の會費は千百十圓、一年の總額は一萬三千圓に達す。其の他みのる會、食堂、法律所、パン需要者等より徴收する會費を合すれば、蓋し巨額となるべきは疑を容れぬ。かくの如く會費を毎月徴收することは有力なる資源であり、理窟の上からしても徴收する

のが當然なのであるから、茲に實行を決定した次第である。

借、毎年一萬三千圓の金が集まれば、十年には十三萬圓となり、近き將來に於いて、本團を團員のものにすることが出来ると思ふ。

### 平民社勞知組合趣意

世界大戰以後各國とも無資産階級の自覺を進めた事は著るしい。従つて勞資の紛争は續々として起り、資本家は恐怖を抱き、一般に社會狀態の推移を氣遣つて居る。

併し貧富の懸隔が今日のやうに著るしく、無資産階級が今日のやうに自覺して來れば、勞資の紛争は當然である。そして或は勞働者の工場占領となり、或は産業の破壊となり、遂に國家の基礎を危ふくするに至るは明かだ、彼の露西亞の現状を見ても分らう。

されば何事にも調和が必要である如く、勞働者對資本家の問題も調



和互讓が伴はなければ駄目である。労働者が世界の大勢に目覺めて眞面目に働き着々として産業の發達に貢献するならば、政府も歡び迎へるであらう、資本家も讓歩して労働者の福利を増進する施設をするに相違ない。

そこで我々は此所に平民社勞知組合を起し、肉體労働者と無資産知識労働者とを聯盟せしめ、知識労働者をして肉體労働に狎れしめ、肉體労働者をして知識的に目覺めしめ、世界の趨勢に順應するに十分なる労働教育を施さんとするものである。そして先づ第一番に安價住宅を供給し、其の住宅を中心として種々なる共同相互扶助事業を經營し、それに依つて多數團結の習慣を作り、經驗を積み、次第に紀律あり訓練ある共同生活團體を編成し、以つて有力なる模範的組合を拵へ上げたいと思ふものである。(大正十年十月)

大正十年十月十五日印刷  
大正十年十月二十日發行

第二維新

定價 金壹圓六拾錢

著者 加治時次郎

發行者 中神美三郎

印刷者 中川二郎

東京市京橋區新榮町五丁目二番地

新榮印刷合資會社

東京市京橋區新榮町五丁目二番地

版權所有

發行所

京橋區木挽町六丁目十番地  
電話銀座一七二〇二番  
振替口座東京二八三七一番

平生活社



加藤病院改稱

營經團行實策政會社

# 平民病院

院長獨國醫學士  
加治時次郎

診療科目

△内科 △外科 △産婦人科  
△泌尿生殖器科 △整形外科  
△皮膚科 △内臓外科 △耳鼻  
咽喉科 △眼科 △齒科 △細菌  
試験科 △諸電療科

東京本  
院

横濱市足  
電 話 者 町 三 二 一 四 番

横濱分  
院

東京市淺  
電 話 草 三 六 〇 〇 番

駒形分  
院

名古屋西  
電 話 區 上 島 町 圓 頓 寺 通

名古屋分  
院

横濱市子  
電 話 安 町 七 七 番

子安分  
院

平民衛生試験所

木挽町平民病院  
にあり

平民法律所

平民病院本院内及駒形  
平民病院内にあり

平民薬局

平民病院及び分院内に出張  
す

加治時次郎先生著(四六版二百六十頁)  
労働組合早わかり

平民社勞知組合

横濱市子安町  
字七島にあり

結婚の革命

(四六版六十頁)  
價三十三錢

發行所 平民病院内 生活社

平民食堂

東京市芝區烏森町にあ  
り

平民俱樂部

芝區烏森町にあり

平民パン製造所

府下大井町字倉  
田にあり



終

